

平成28年度

# 健診受診者（被保険者）の業態別リスク 保有割合・生活習慣等の傾向について

使用データ：平成28年度三重支部健診受診者リスト  
平成28年度三重支部健診質問票リスト  
平成28年度三重支部事業所情報リスト

## ～目次～

- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| 1. 業態区分対応表、健診受診者構成割合、健診受診率 | P.3～7   |
| 2. 健診検査項目別リスク保有割合          | P.8～29  |
| 3. 健診質問票項目別リスク保有割合         | P.30～49 |

### <算出方法について>

平成28年度に生活習慣病予防健診、事業者健診を受診した三重支部被保険者の検査結果データから、業態ごとに腹囲、血圧、脂質、代謝等の各リスク保有割合を算出した。また、業態ごとに健診質問票項目における該当割合を算出した。

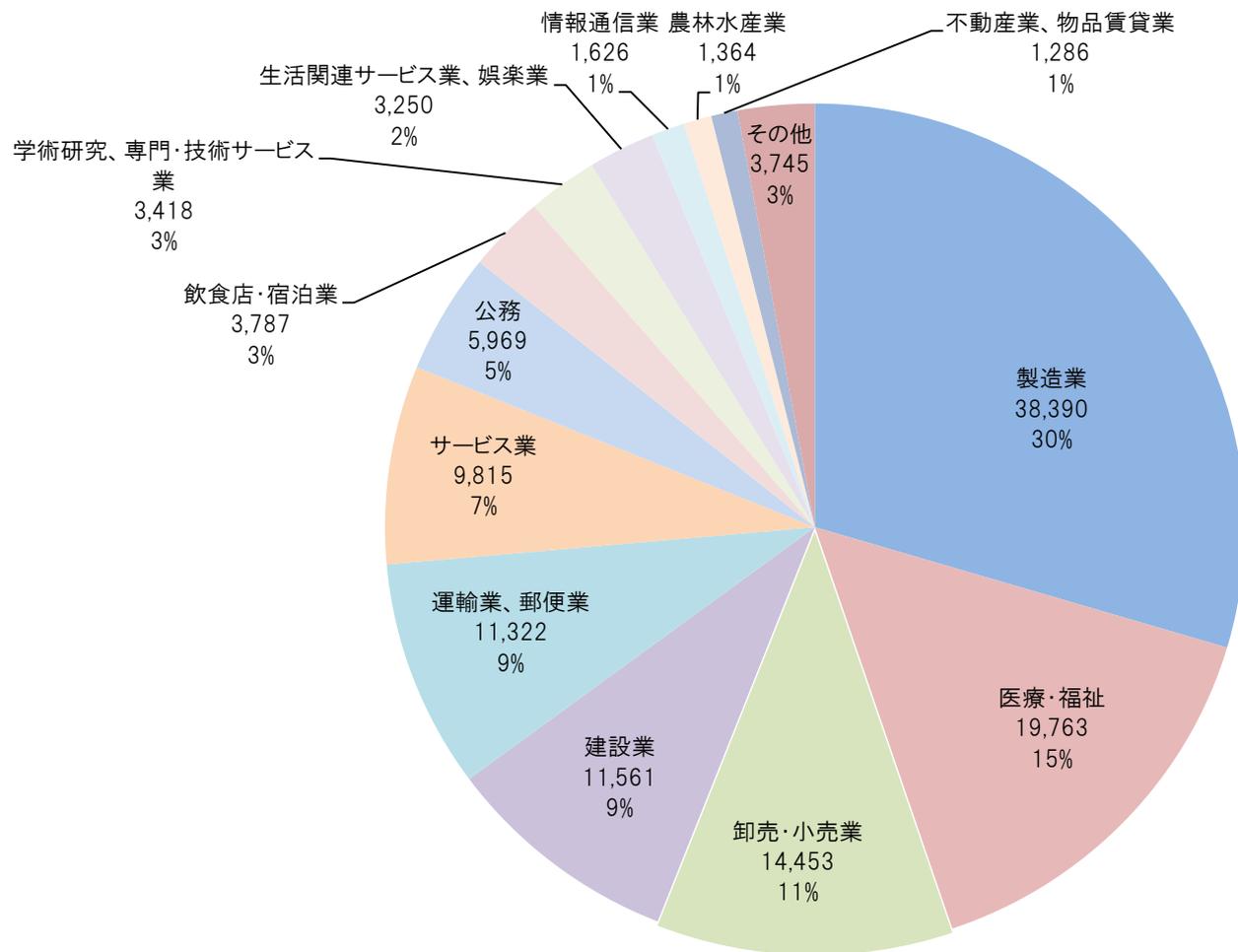
なお、算出にあたっては業態によって年齢構成や性別構成に大きな差があるため、業種間の差を分析するにあたり性別・年齢調整を実施した。また、参考として男女別の割合(年齢調整実施前)も算出した。

# 業態区分対応表

大区分	小区分
農林水産業	農林水産業
鉱業・採石業・砂利採取業	鉱業・採石業・砂利採取業
建設業	総合工事業 職別工事業 設備工事業
製造業	食料品・たばこ製造業 繊維製品製造業 木製品・家具等製造業 紙製品製造業 印刷・同関連業 化学工業・同類似業 金属工業 機械器具製造業 その他の製造業
電気・ガス・熱供給・水道業	電気・ガス・熱供給・水道業
情報通信業	情報通信業
運輸業、郵便業	道路貨物運送業 その他の運輸業
卸売・小売業	卸売業 飲食料品以外の小売業 飲食料品小売業 無店舗小売業

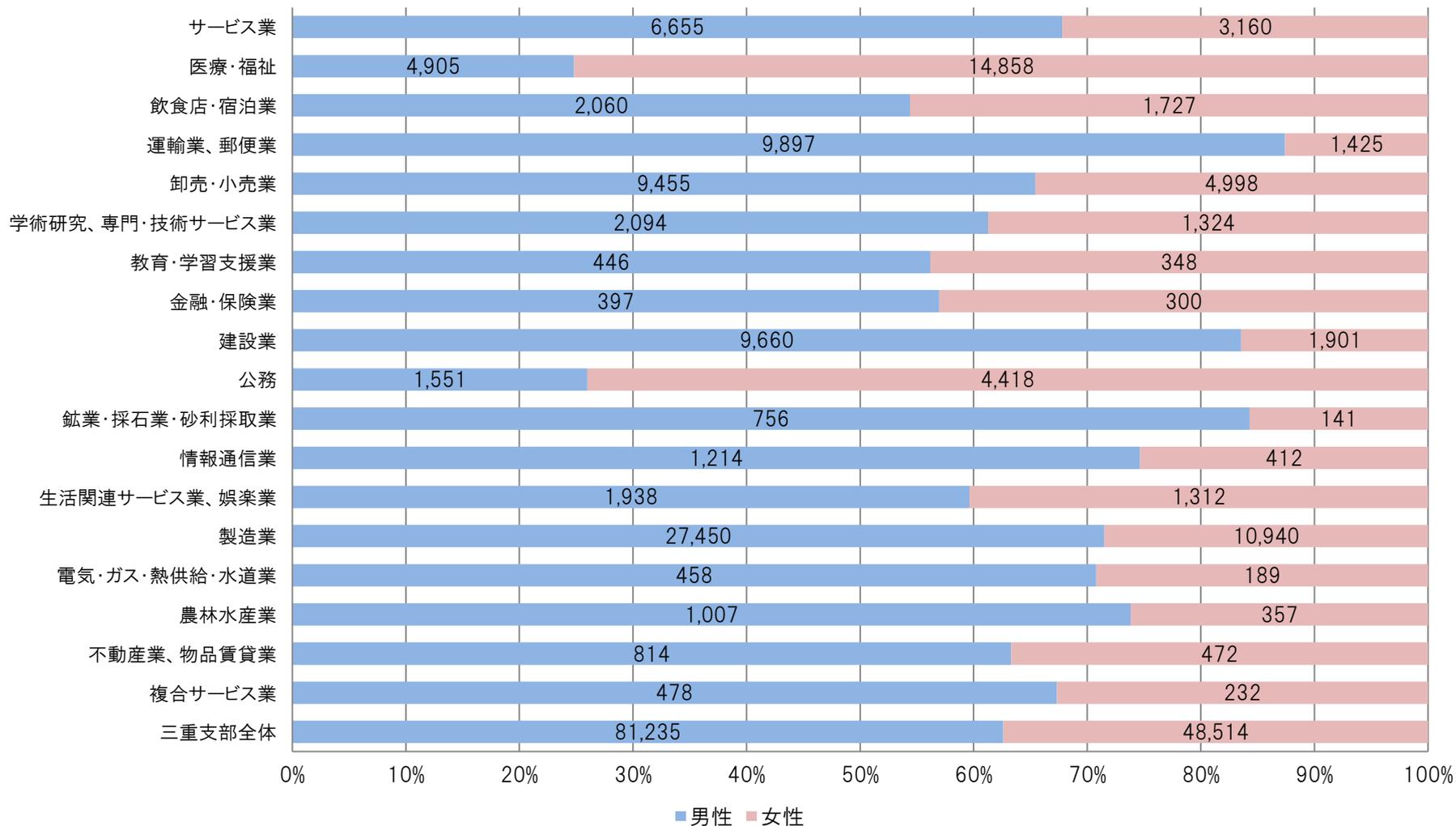
大区分	小区分
金融・保険業	金融・保険業
不動産業、物品賃貸業	不動産業 物品賃貸業
学術研究、専門・技術サービス業	学術研究機関 専門・技術サービス業
飲食店・宿泊業	飲食店 宿泊業
生活関連サービス業、娯楽業	対個人サービス業 娯楽業
教育・学習支援業	教育・学習支援業
医療・福祉	医療業・保健衛生
医療・福祉	社会保険・社会福祉・介護事業
複合サービス業	複合サービス業
サービス業	職業紹介・労働者派遣業 その他の対事業所サービス業 修理業 廃棄物処理業 政治・経済・文化団体 その他サービス業
公務	公務

## 三重支部 業態別健診受診者構成



今回の分析対象の健診受診者(被保険者)については、上位6業態で約82%を占めている。

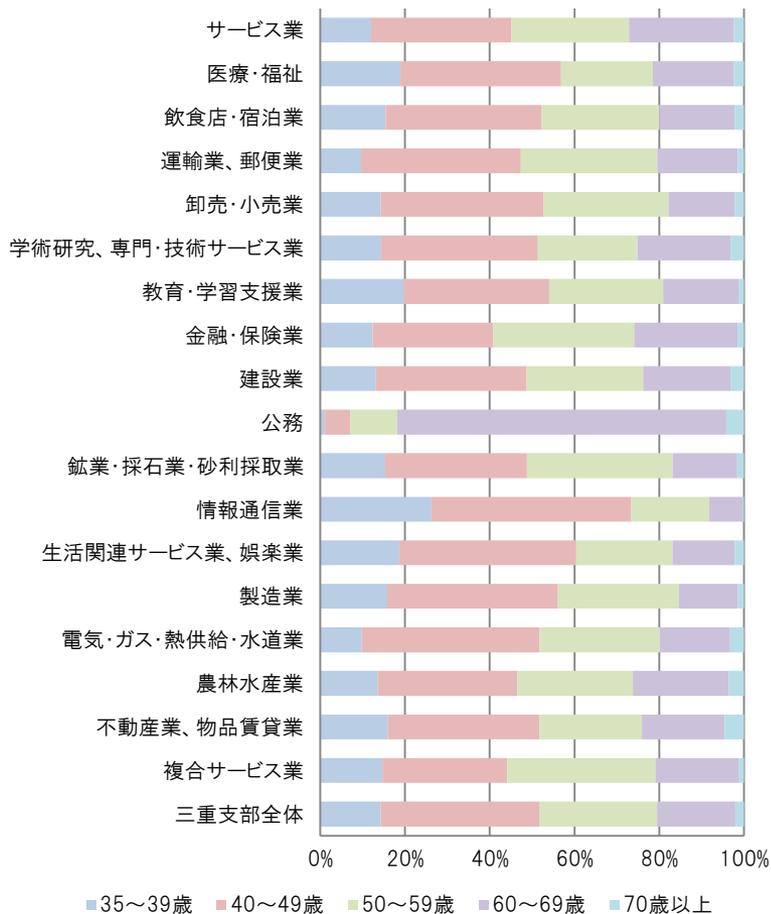
# 業態別・性別 健診受診者構成割合



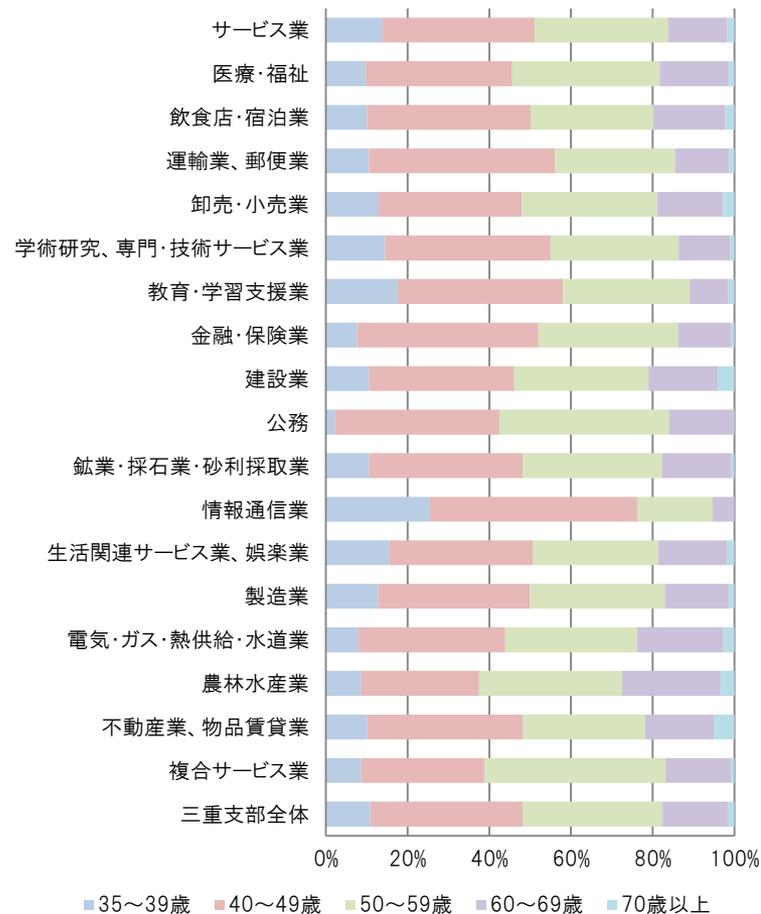
業態によって、男女の構成割合が大きく異なる。「運輸業、郵便業」、「鉱業・採石業・砂利採取業」、「建設業」では男性の割合が高く、一方、「医療・福祉」、「公務」では女性の割合が高い。三重支部全体では男女比が6:4となっている。

# 業態別・性別・年齢階級別 健診受診者構成割合

## 男性

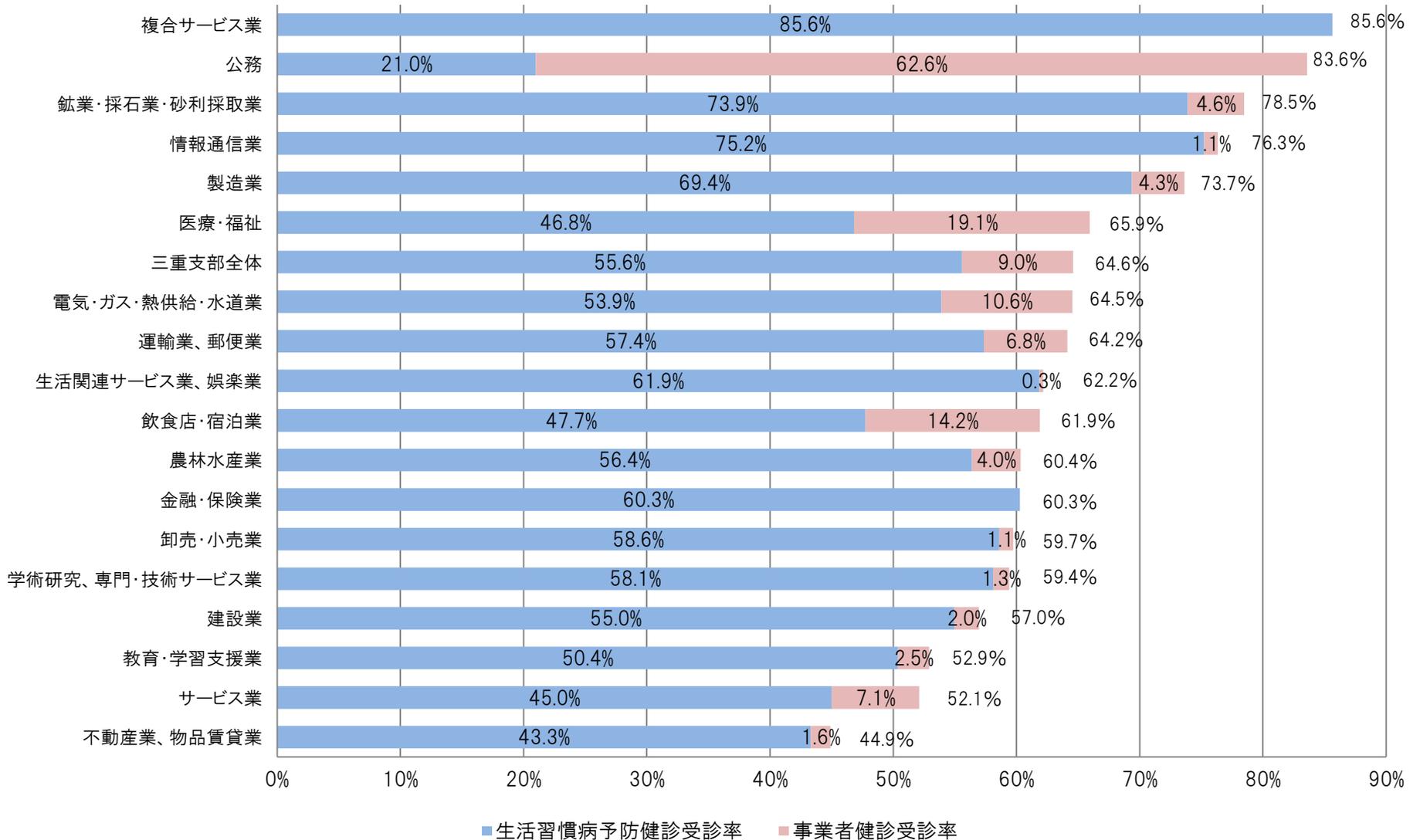


## 女性



「情報通信業」は男女とも35～39歳、40～49歳の割合が他業態と比較して高い。「公務」の男性は60～69歳の割合が高い。三重支部全体では40～49歳の割合が最も高く、次に50～59歳の割合が高い。

# 業態別 健診受診率（参考）

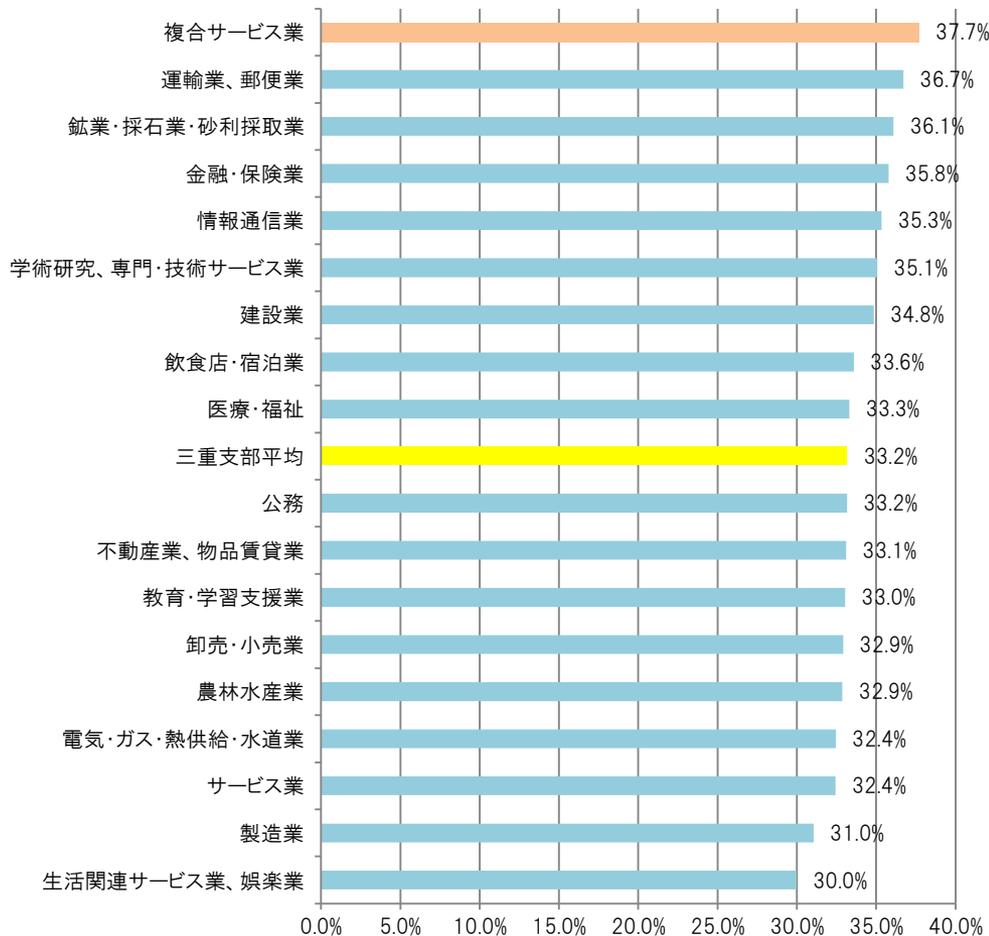


# 健診検査項目別リスク保有割合

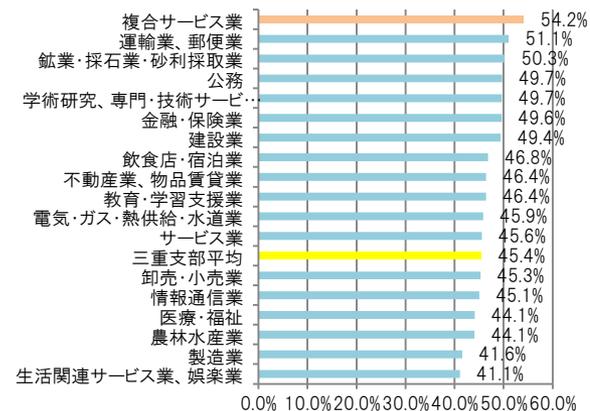
# 業態別 腹囲リスク保有割合

【腹囲リスク】 男性:腹囲85cm以上 女性:腹囲90cm以上

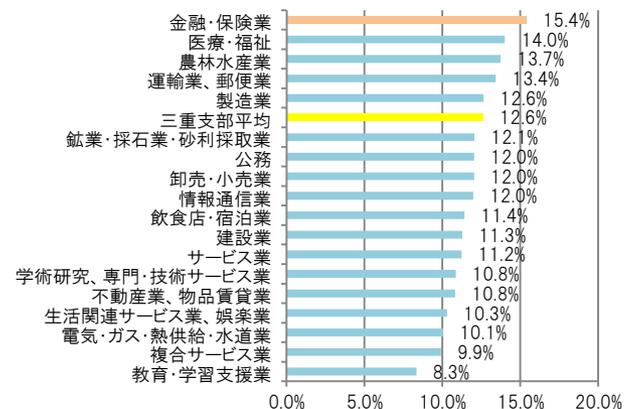
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)

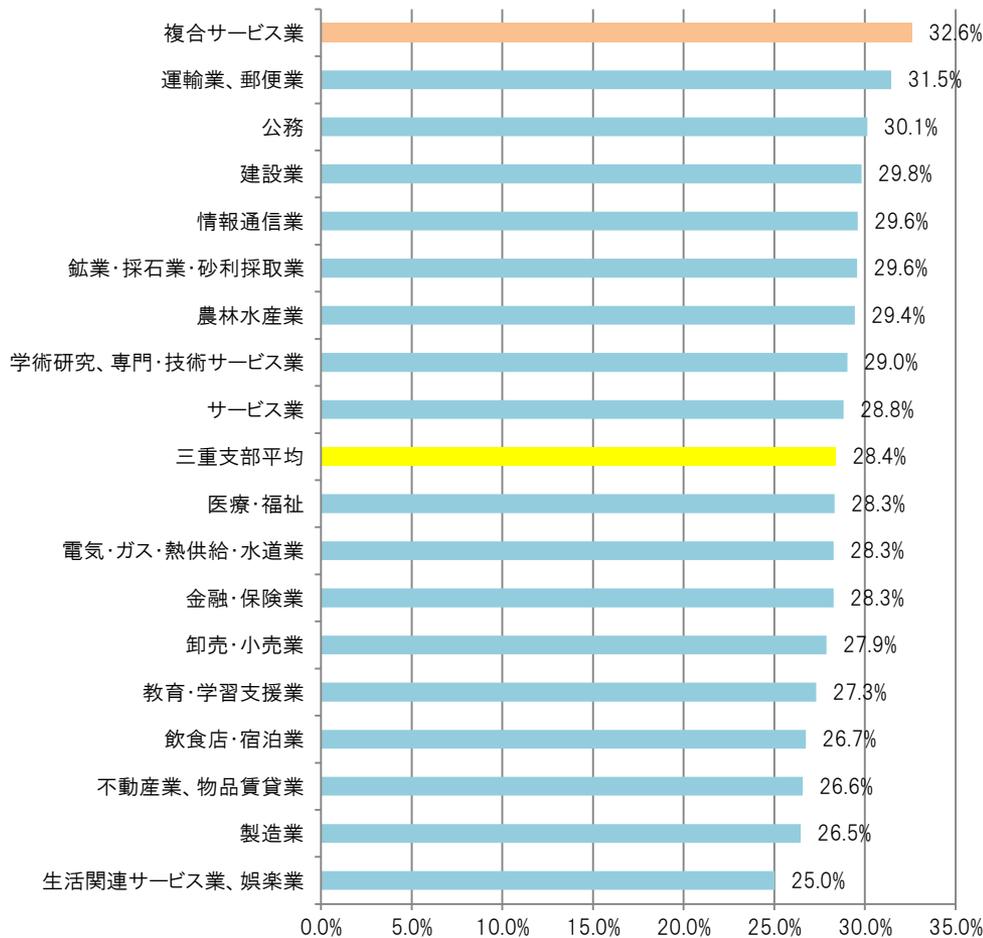


女性 (参考)

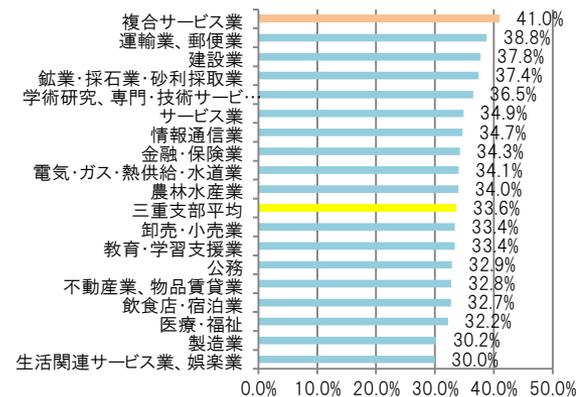


性別・年齢調整後の男女計割合で「複合サービス業」が37.7%と最も高く、次いで、「運輸業・郵便業」(36.7%)、「鉱業・採石業・砂利採取業」(36.1%)の順に高い。最も低い業態は「生活関連サービス業、娯楽業」で30.0%であった。

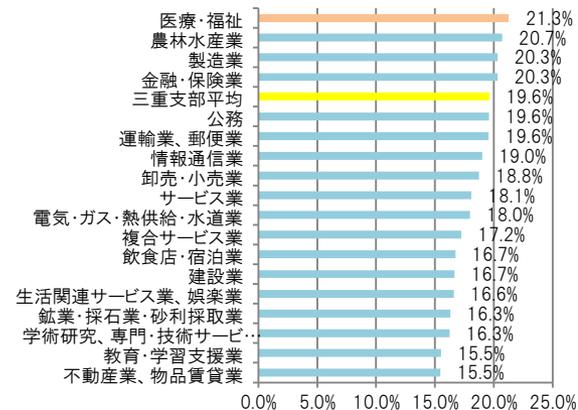
## 性別・年齢構成比を調整後



## 男性 (参考)



## 女性 (参考)

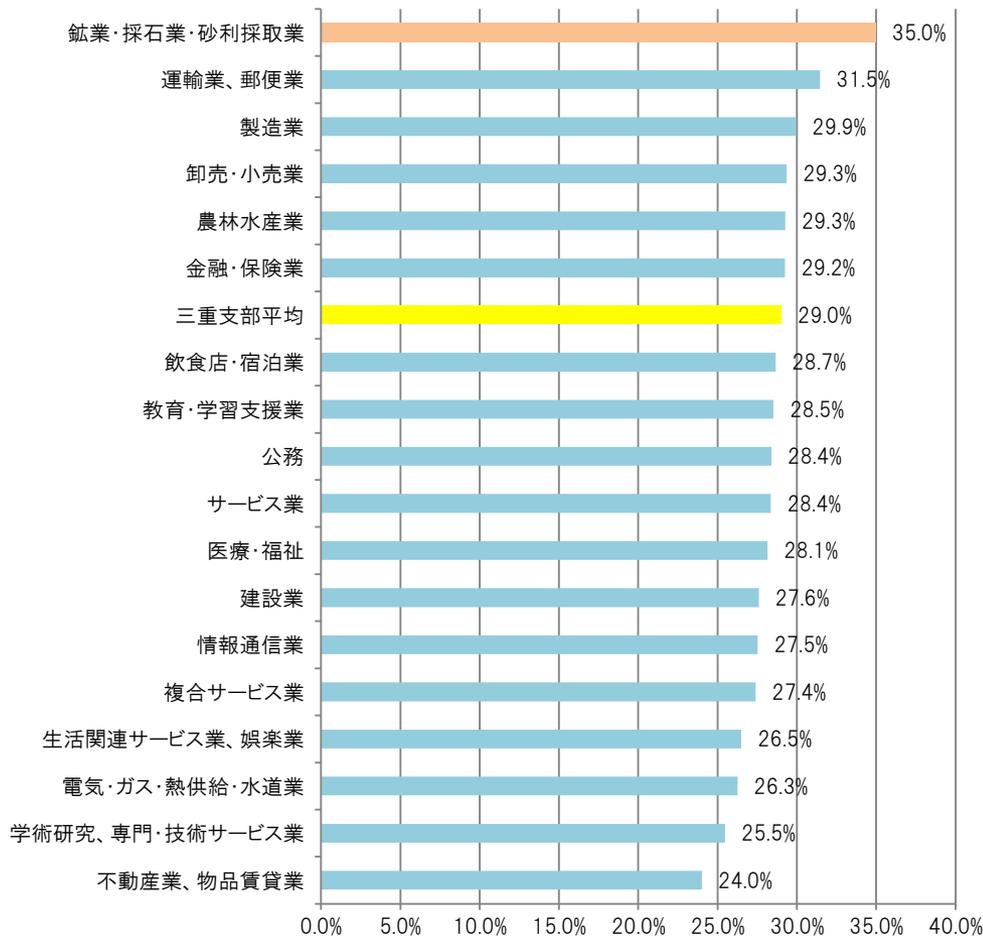


性別・年齢調整後の男女割合で「複合サービス業」が32.6%と最も高く、次いで、「運輸業・郵便業」(31.5%)、「公務」(30.1%)の順に高い。最も低い業態は、「生活関連サービス業、娯楽業」で25.0%であった。

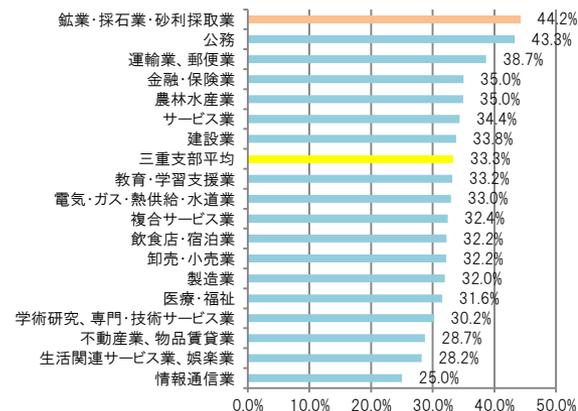
# 業態別 収縮期血圧リスク保有割合

【収縮期血圧リスク】収縮期血圧 130mmHg以上

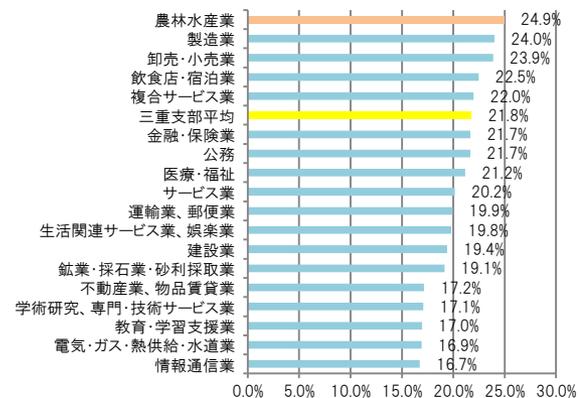
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)

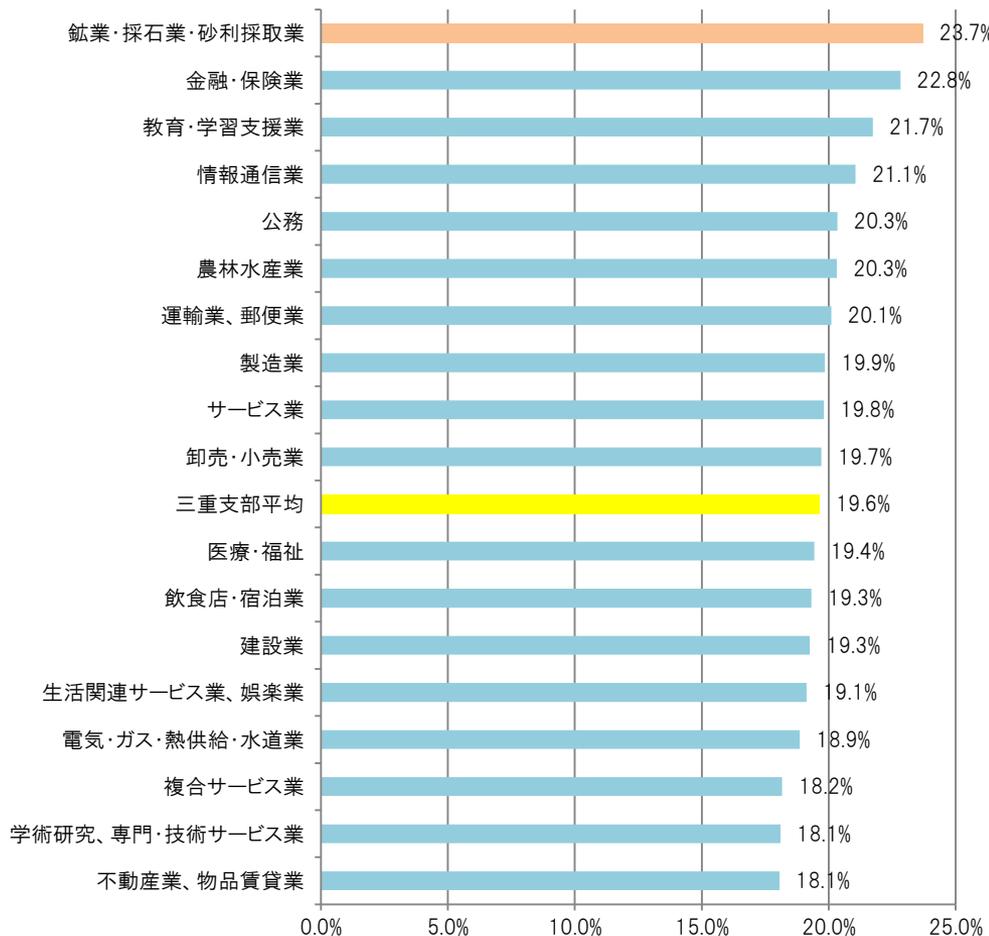


女性 (参考)

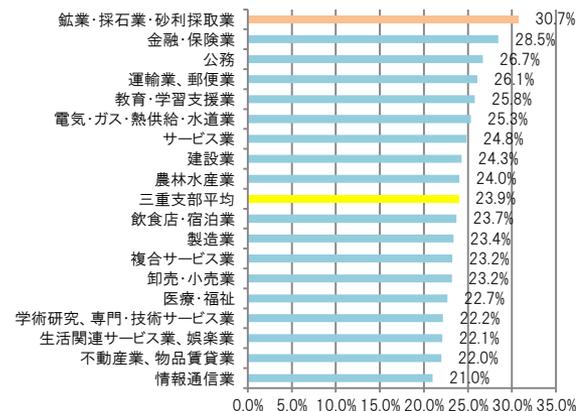


性別・年齢調整後の男女計割合で「鉱業・採石業・砂利採取業」が35.0%と最も高く、次いで、「運輸業・郵便業」(31.5%)、「製造業」(29.9%)の順に高い。最も低い業態は「不動産業、物品賃貸業」で24.0%であった。

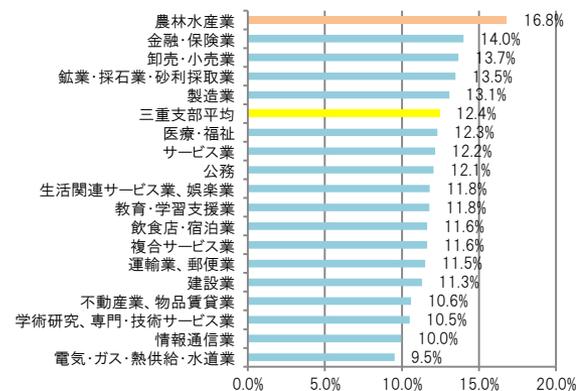
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

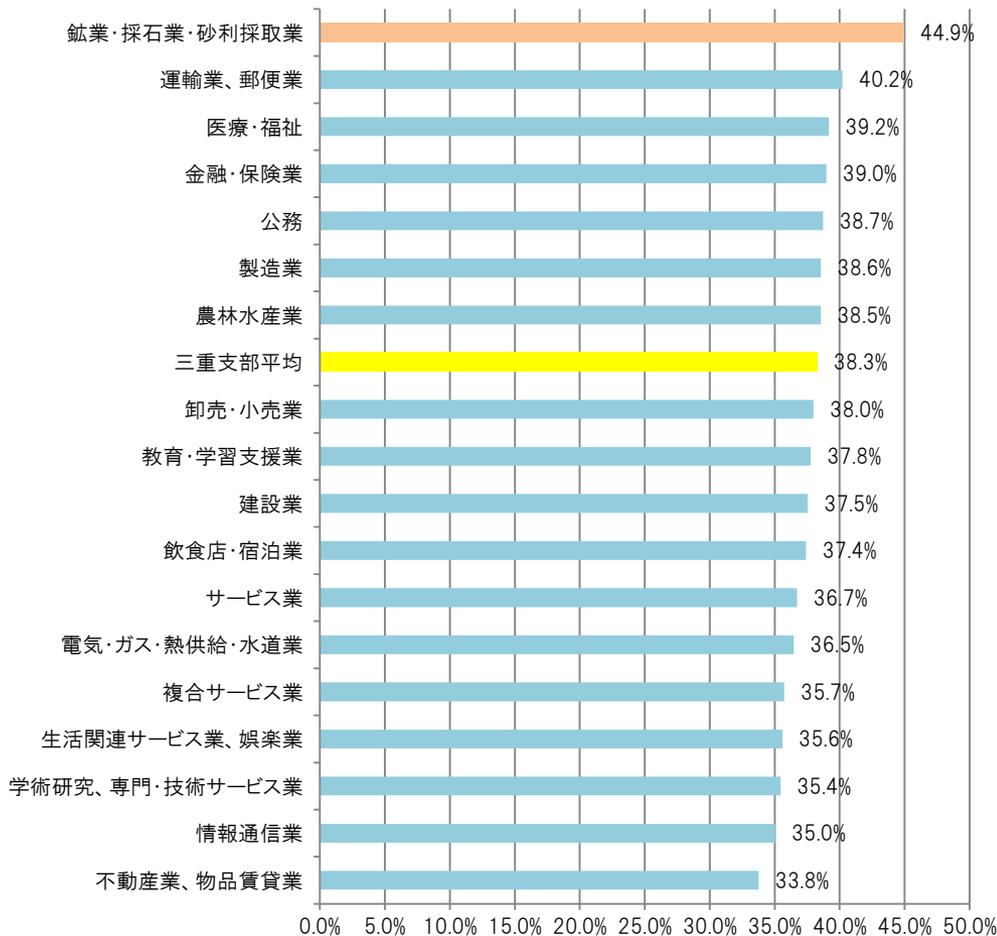


性別・年齢調整後の男女計割合で「鉱業・採石業・砂利採取業」が23.7%と最も高く、次いで、「金融・保険業」(22.8%)、「教育・学習支援業」(21.7%)の順に高い。最も低い業態は「不動産業、物品賃貸業」で18.1%であった。

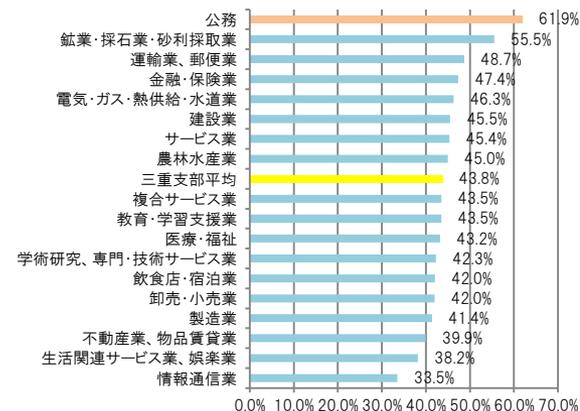
# 業態別 血圧リスク(メタボ判定基準)保有割合

【血圧リスク】 収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上 または 高血圧の薬剤投与あり

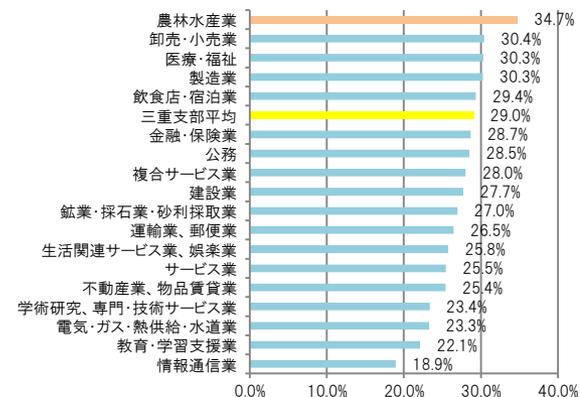
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)

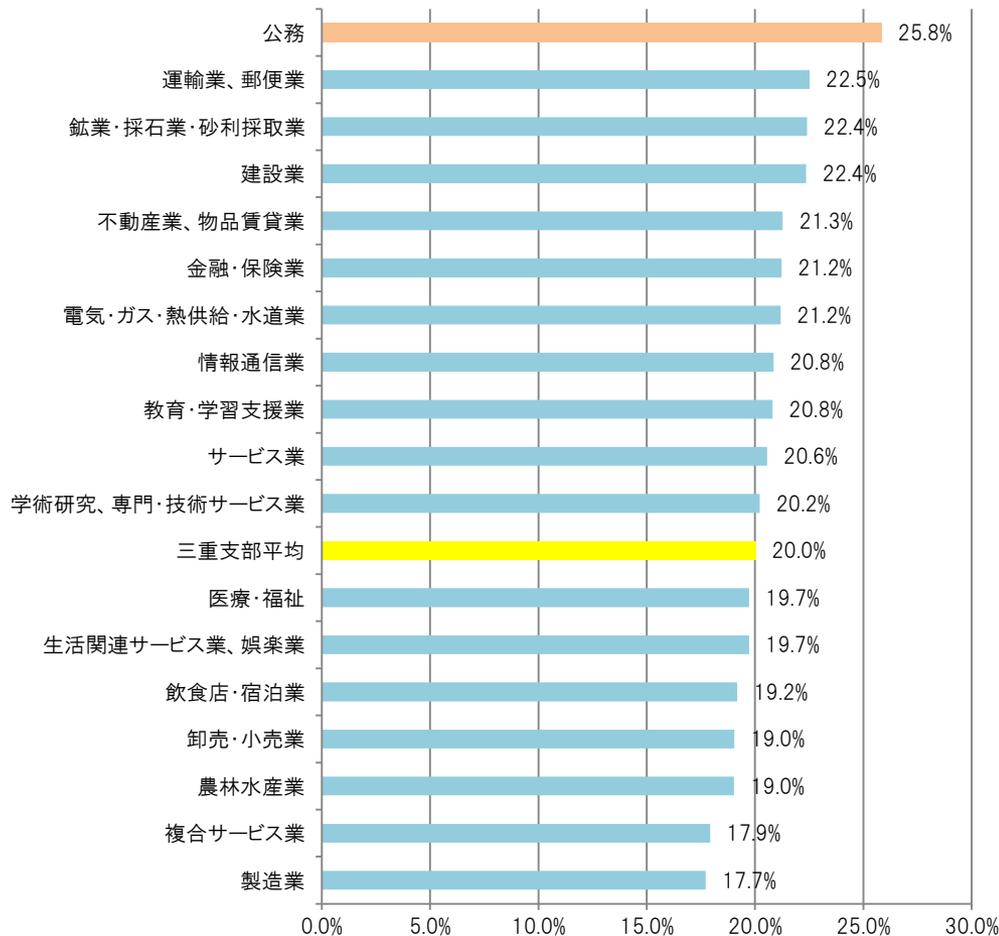


女性 (参考)

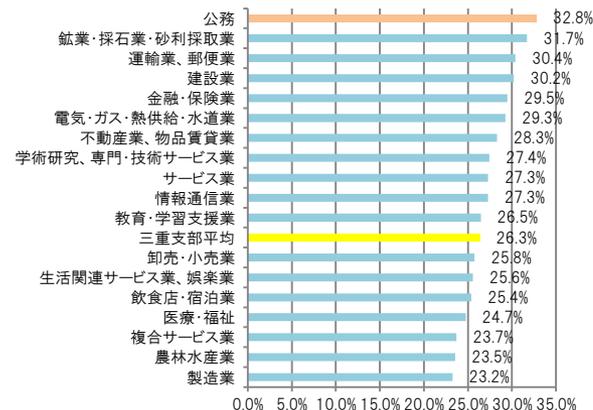


性別・年齢調整後の男女割合で「鉱業・採石業・砂利採取業」が44.9%と最も高く、次いで、「運輸業・郵便業」(40.2%)、「医療・福祉」(39.2%)の順に高い。最も低い業態は「不動産業、物品賃貸業」で33.8%であった。

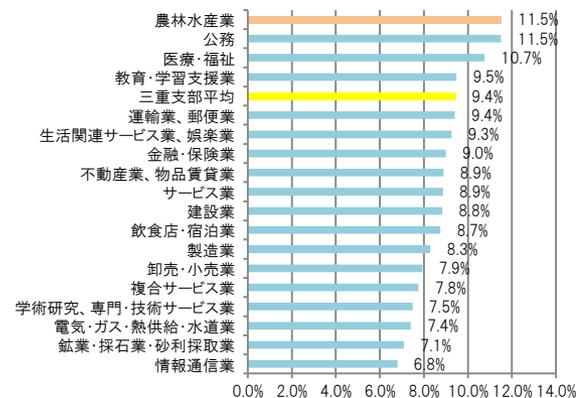
## 性別・年齢構成比を調整後



## 男性 (参考)



## 女性 (参考)

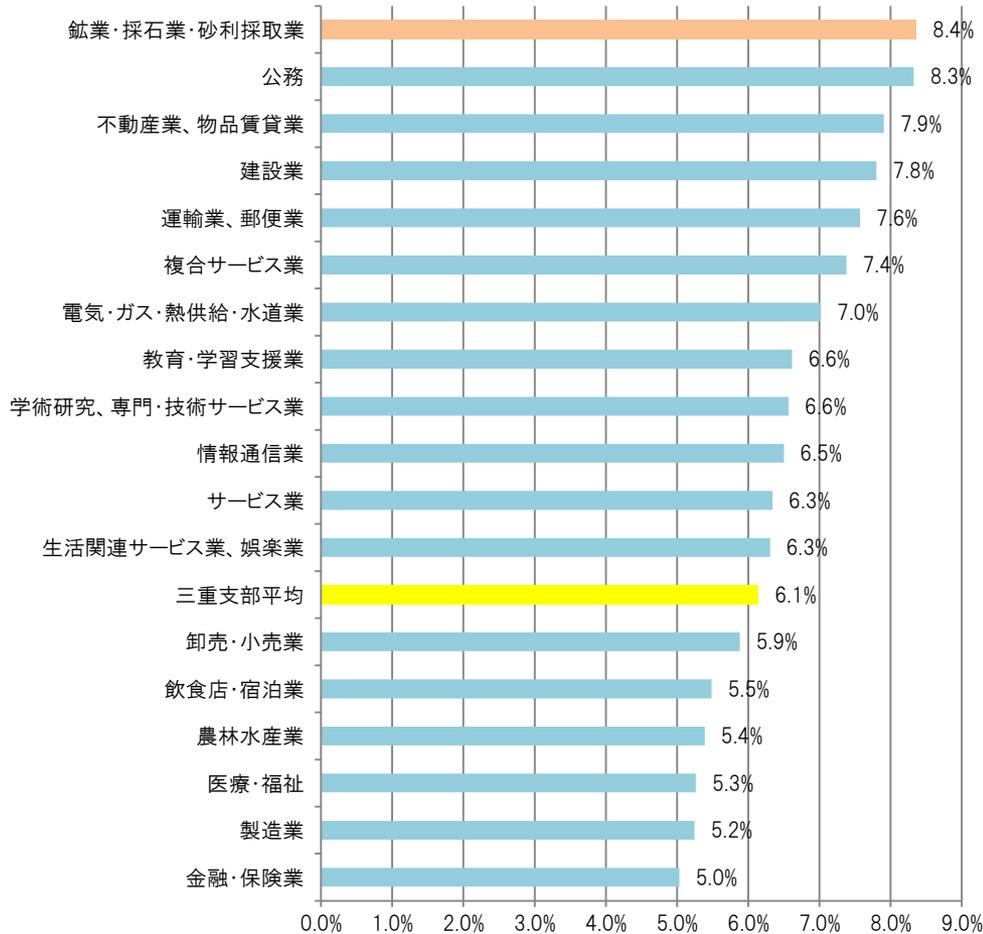


性別・年齢調整後の男女割合で「公務」が25.8%と最も高く、次いで、「運輸業・郵便業」(22.5%)、「鉱業・採石業・砂利採取業」(22.4%)、「建設業」(22.4%)の順に高い。最も低い業態は「製造業」で17.7%であった。

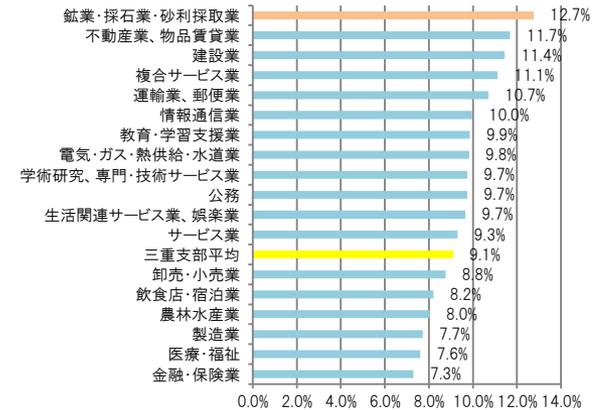
# 業態別 HDLリスク保有割合

【HDLリスク】 HDL 40mg/dl未満

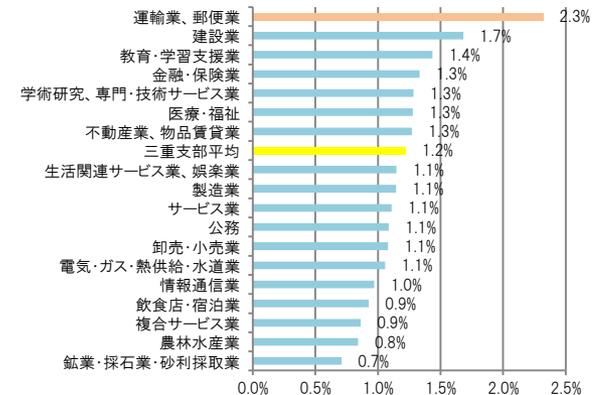
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)

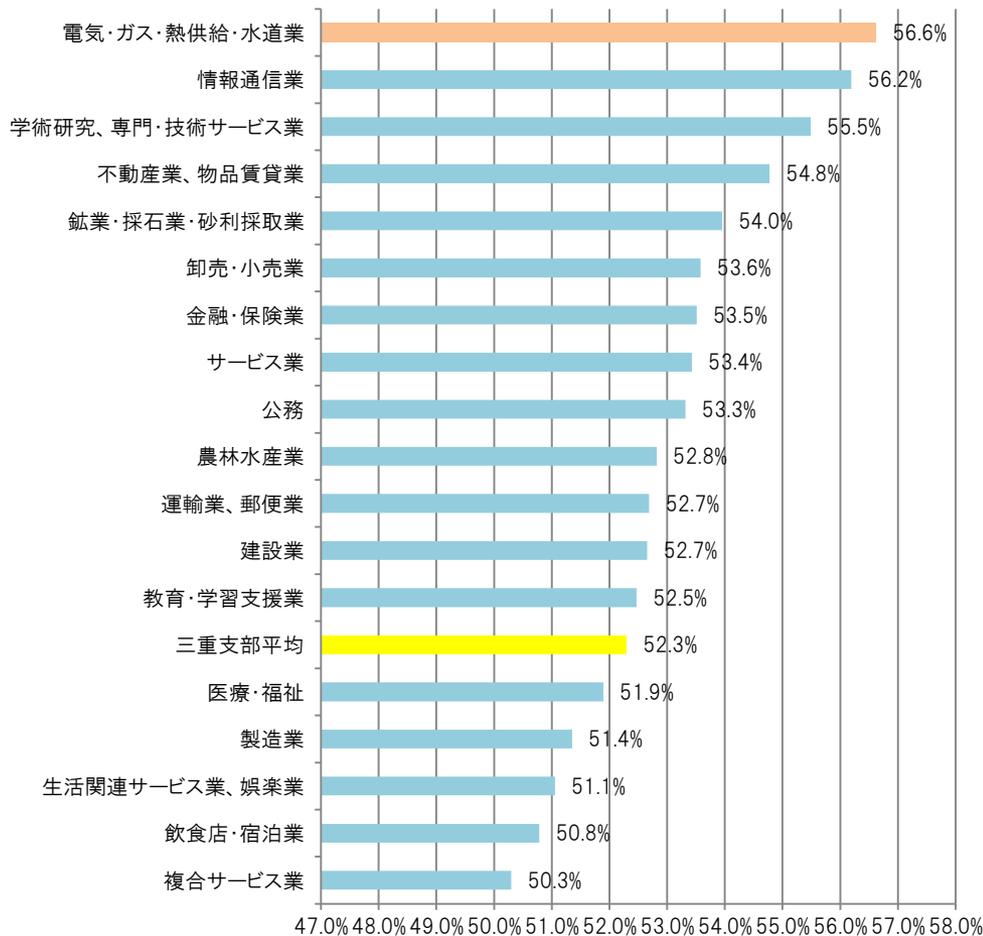


女性 (参考)

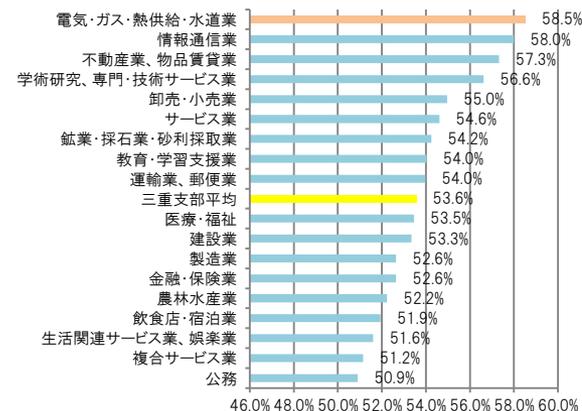


性別・年齢調整後の男女割合で「鉱業・採石業・砂利採取業」が8.4%と最も高く、次いで、「公務」(8.3%)、「不動産業、物品賃貸業」(7.9%)の順に高い。最も低い業態は「金融・保険業」で5.0%であった。

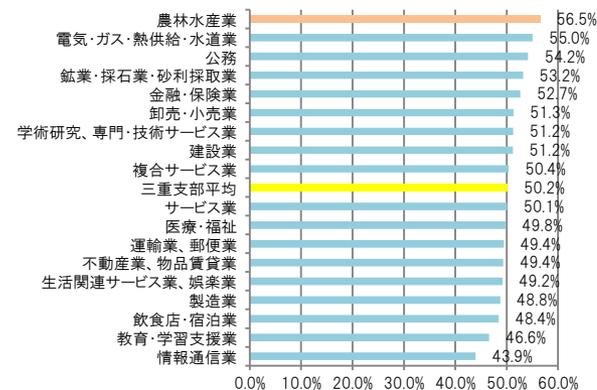
## 性別・年齢構成比を調整後



## 男性 (参考)



## 女性 (参考)

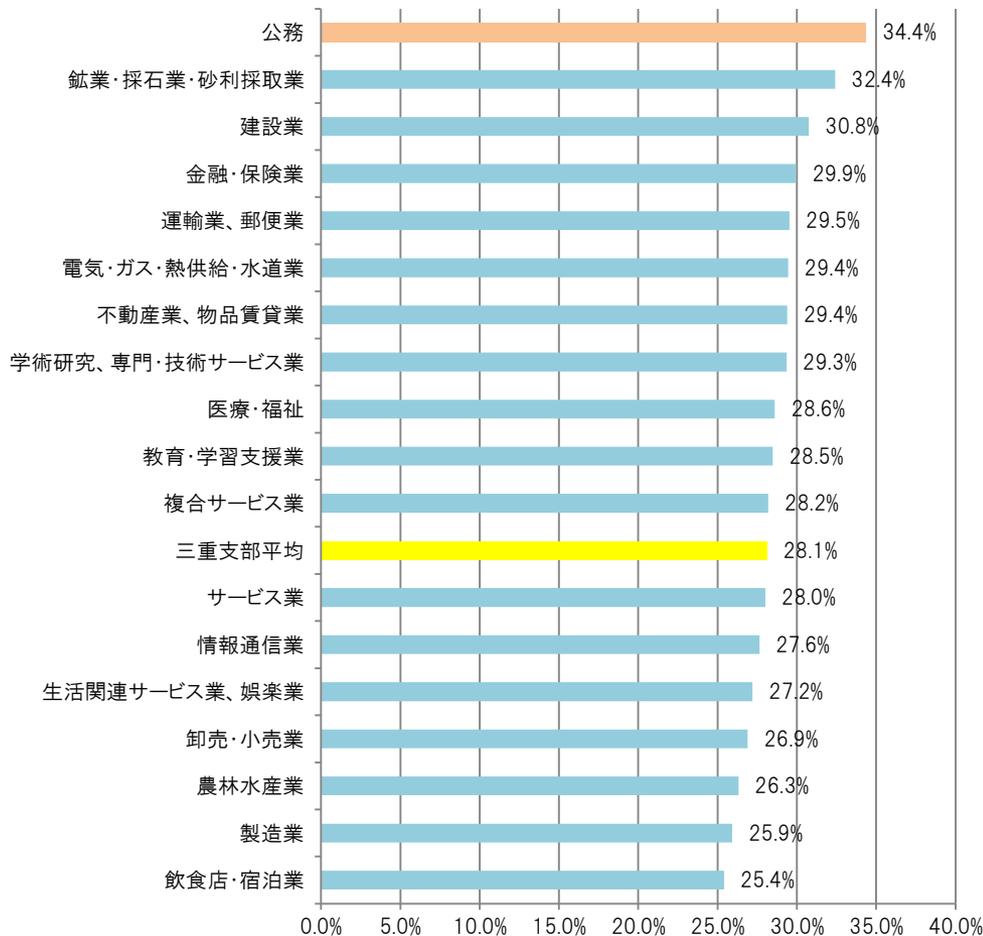


性別・年齢調整後の男女計割合で「電気・ガス・熱供給・水道業」が56.6%と最も高く、次いで、「情報通信業」(56.2%)、「学術研究、専門・技術サービス業」(55.5%)の順に高い。最も低い業態は「複合サービス業」で50.3%であった。

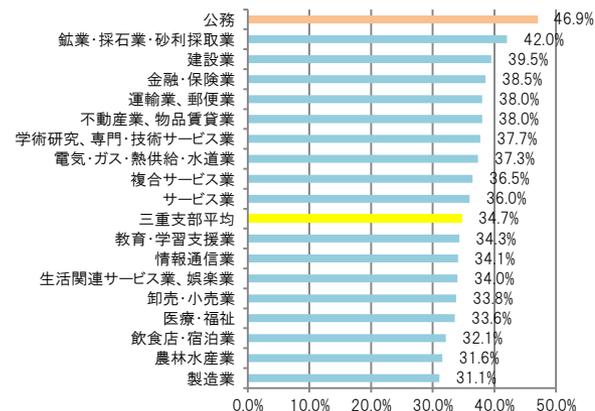
# 業態別 脂質リスク（メタボ判定基準）保有割合

【脂質リスク】 中性脂肪150mg/dl以上 または HDL 40mg/dl未満  
または 脂質異常症の薬剤治療あり

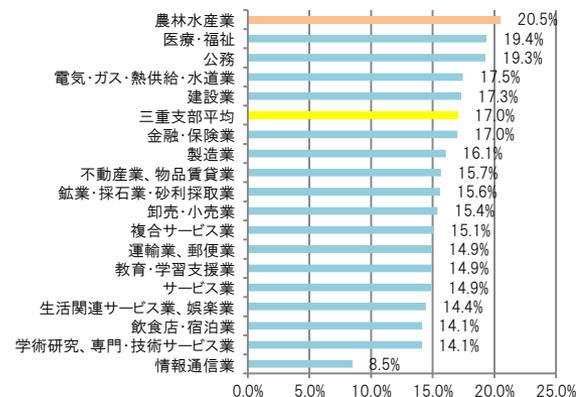
性別・年齢構成比を調整後



男性（参考）



女性（参考）

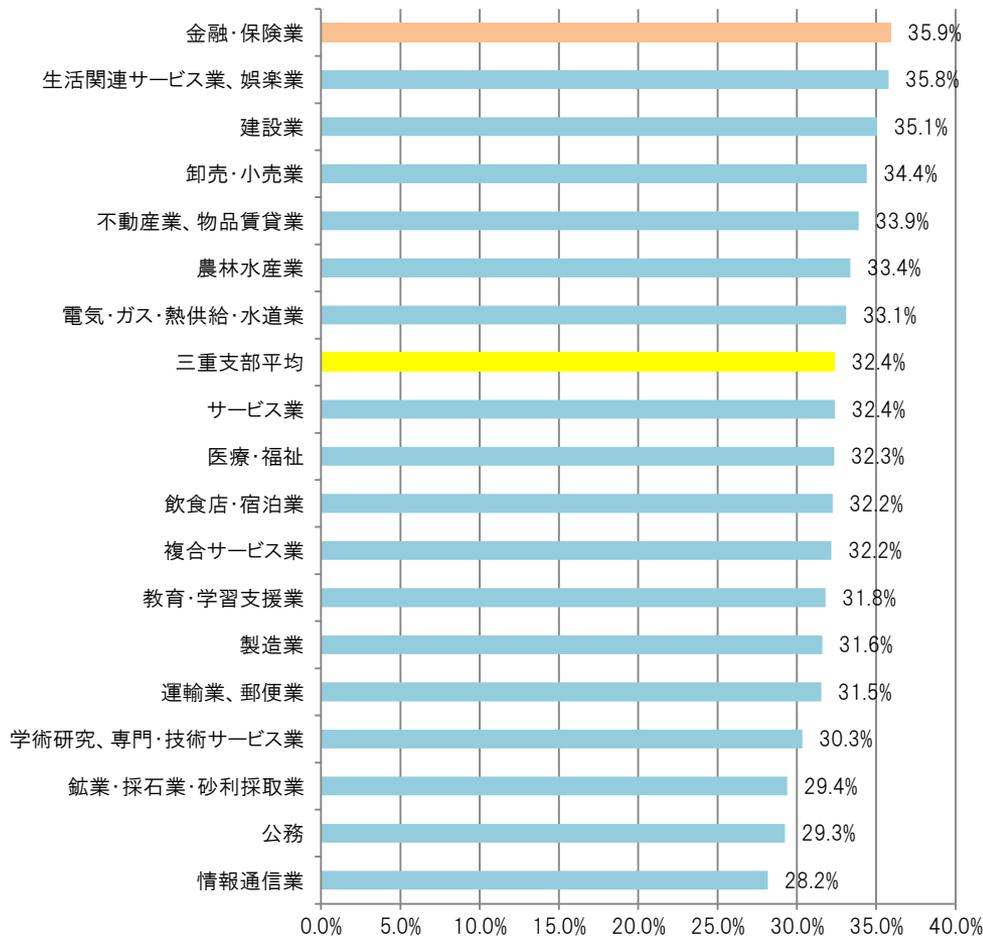


性別・年齢調整後の男女計割合で「公務」が34.4%と最も高く、次いで、「鉱業・採石業・砂利採取業」(32.4%)、「建設業」(30.8%)の順に高い。最も低い業態は「飲食店・宿泊業」で25.4%であった。

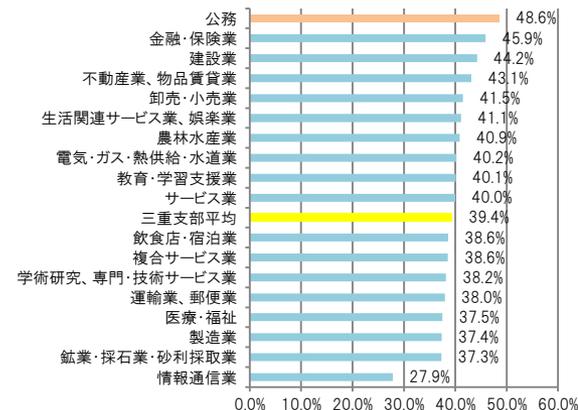
# 業態別 空腹時血糖リスク保有割合

【空腹時血糖リスク】 空腹時血糖 100mg/dl以上

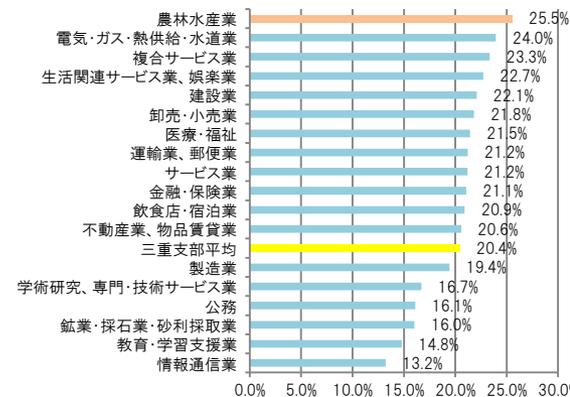
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

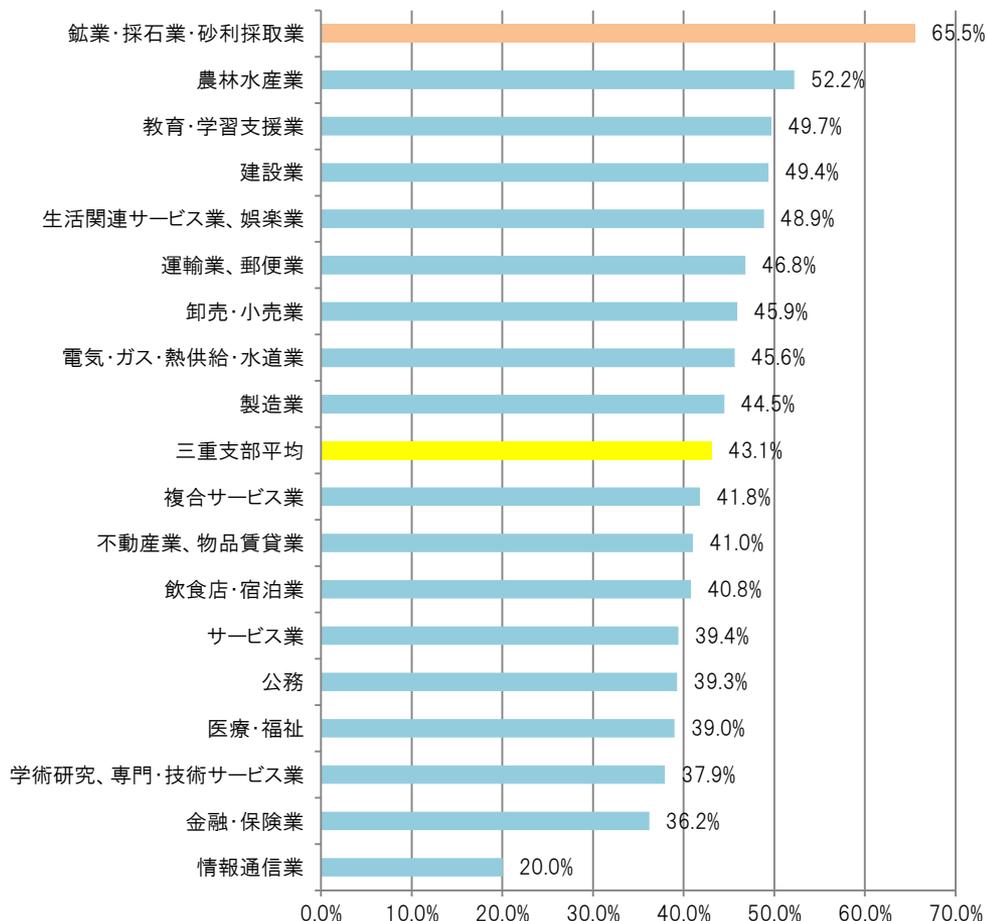


性別・年齢調整後の男女割合で「金融・保険業」が35.9%と最も高く、次いで、「生活関連サービス業、娯楽業」(35.8%)、「建設業」(35.1%)の順に高い。最も低い業態は「情報通信業」で28.2%であった。

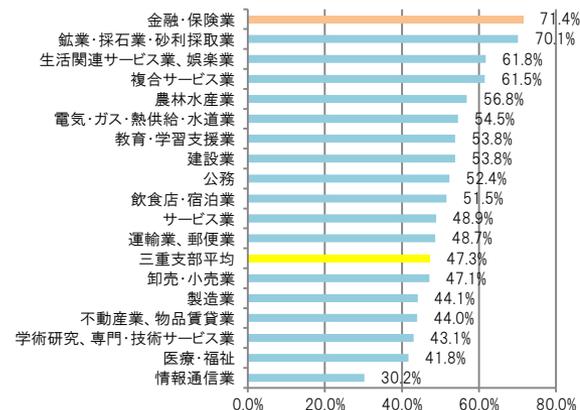
# 業態別 HbA1cリスク保有割合

【HbA1cリスク】 HbA1c 5.6以上  
空腹時血糖が判定不能の場合のみHbA1cを使用

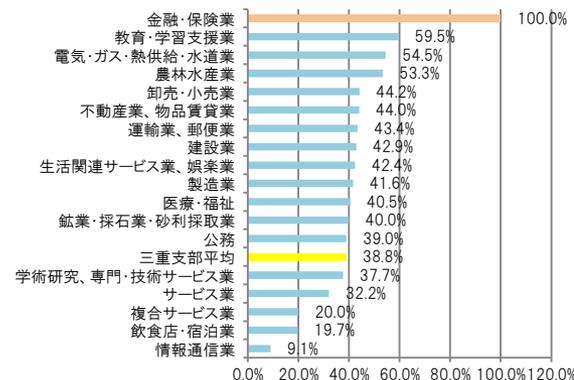
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

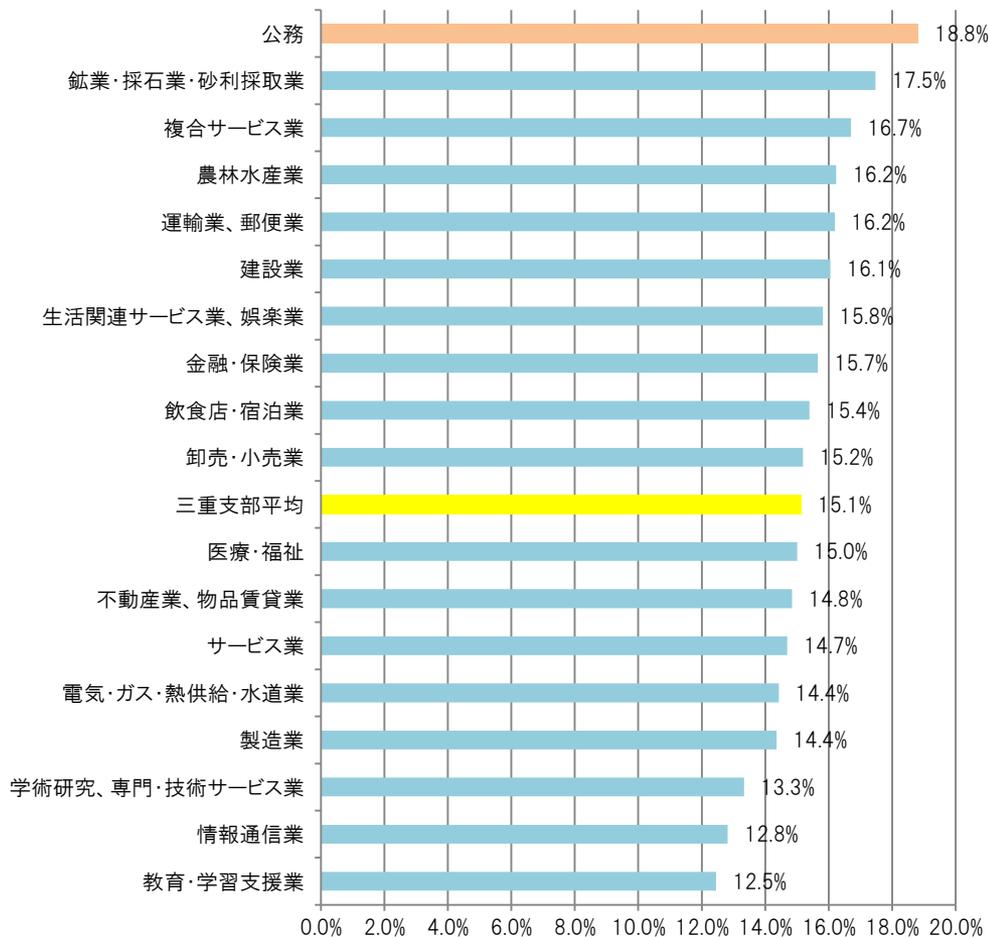


空腹時血糖リスクが判定不能の方のみを対象としている。性別・年齢調整後の男女計割合で「鉱業・採石業・砂利採取業」が65.5%と最も高く、次いで、「農林水産業」(52.2%)、「教育・学習支援業」(49.7%)の順に高い。最も低い業態は「情報通信業」で20.0%であった。

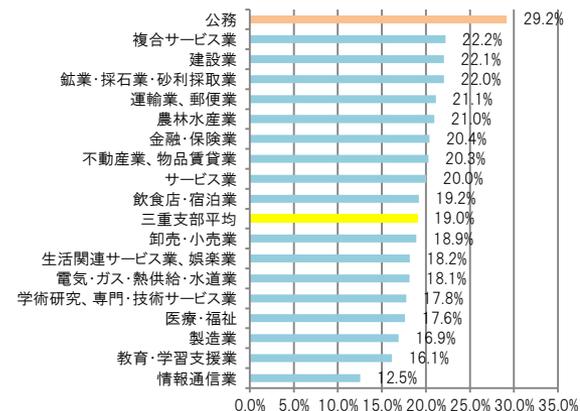
# 業態別 代謝リスク（メタボ判定基準）保有割合

【代謝リスク】空腹時血糖100mg/dl以上 または HbA1c5.6以上（空腹時血糖判定不能の場合） または 糖尿病の薬剤治療あり

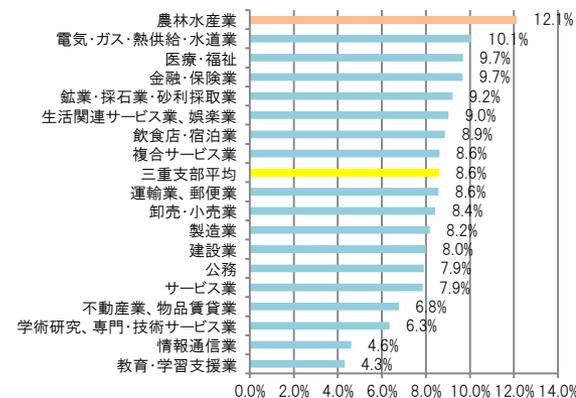
性別・年齢構成比を調整後



男性（参考）



女性（参考）

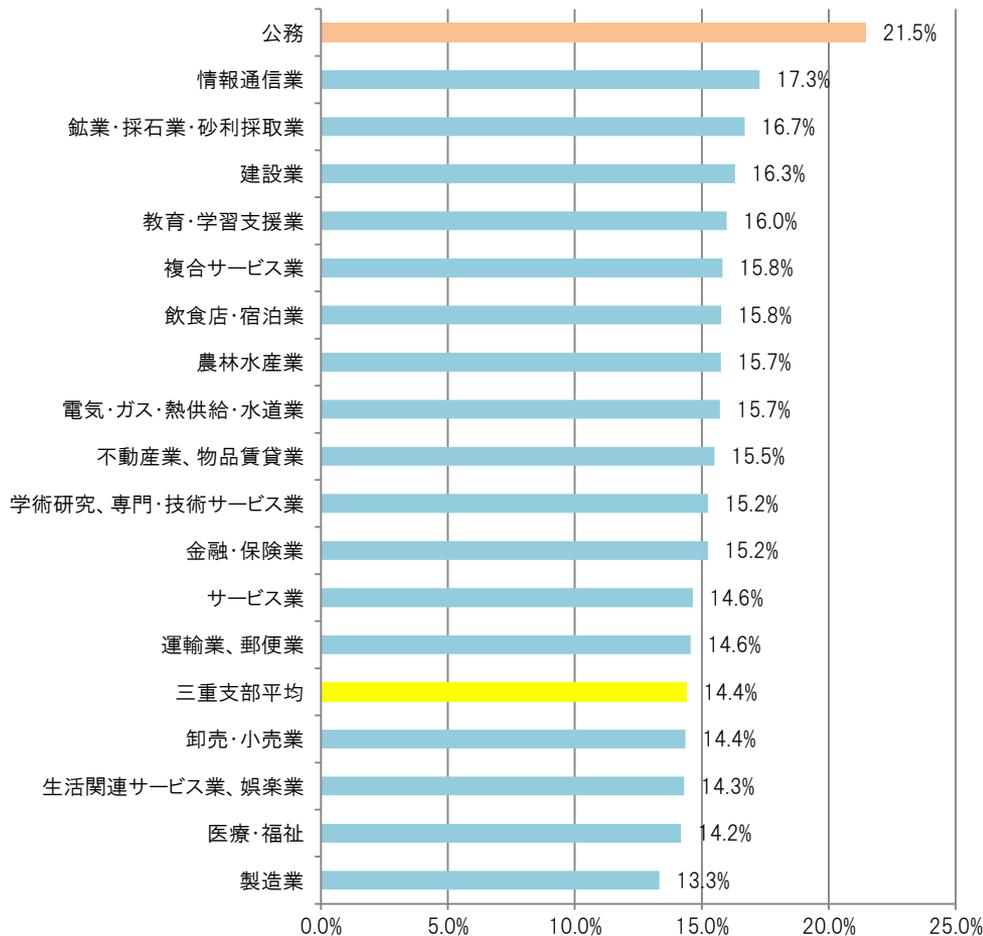


性別・年齢調整後の男女割合で「公務」が18.8%と最も高く、次いで、「鉱業・採石業・砂利採取業」(17.5%)、「複合サービス業」(16.7%)の順に高い。最も低い業態は「教育・学習支援業」で12.5%であった。

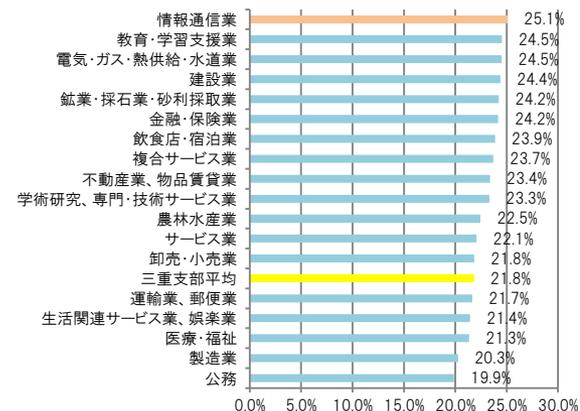
# 業態別 尿酸リスク保有割合

【尿酸リスク】 尿酸2.0mg/dl以下、7.1mg/dl以上

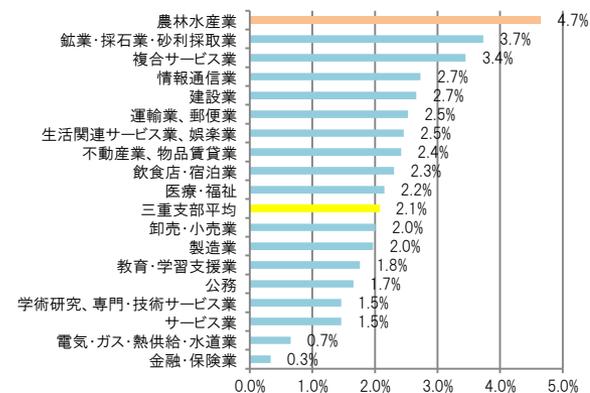
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

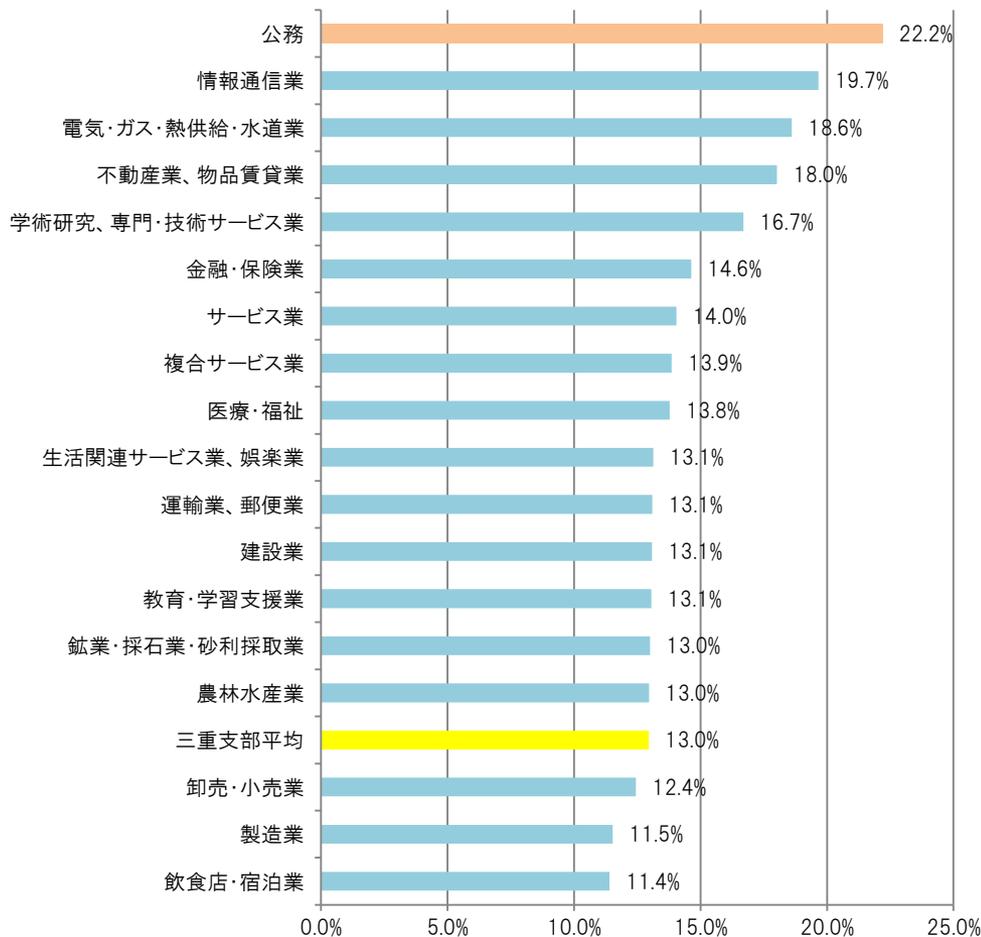


性別・年齢調整後の男女割合で「公務」が21.5%と最も高く、次いで、「情報通信業」(17.3%)、「鉱業・採石業・砂利採取業」(16.7%)の順に高い。最も低い業態は「製造業」で13.3%であった。

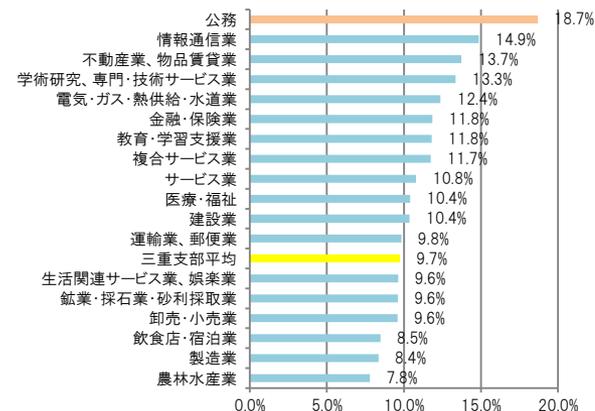
# 業態別 血清クレアチニンリスク保有割合

【血清クレアチニンリスク】 血清クレアチニン 男性:1.01mg/dl以上  
女性:0.71mg/dl以上

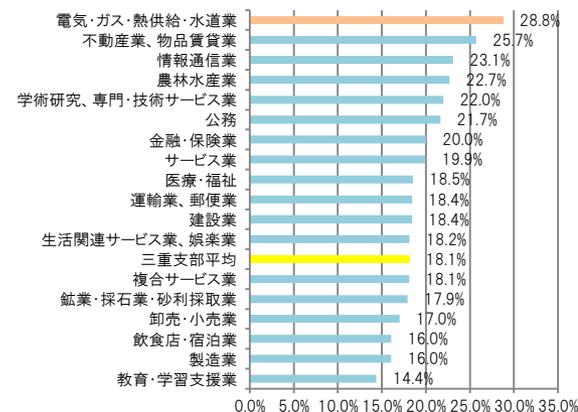
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

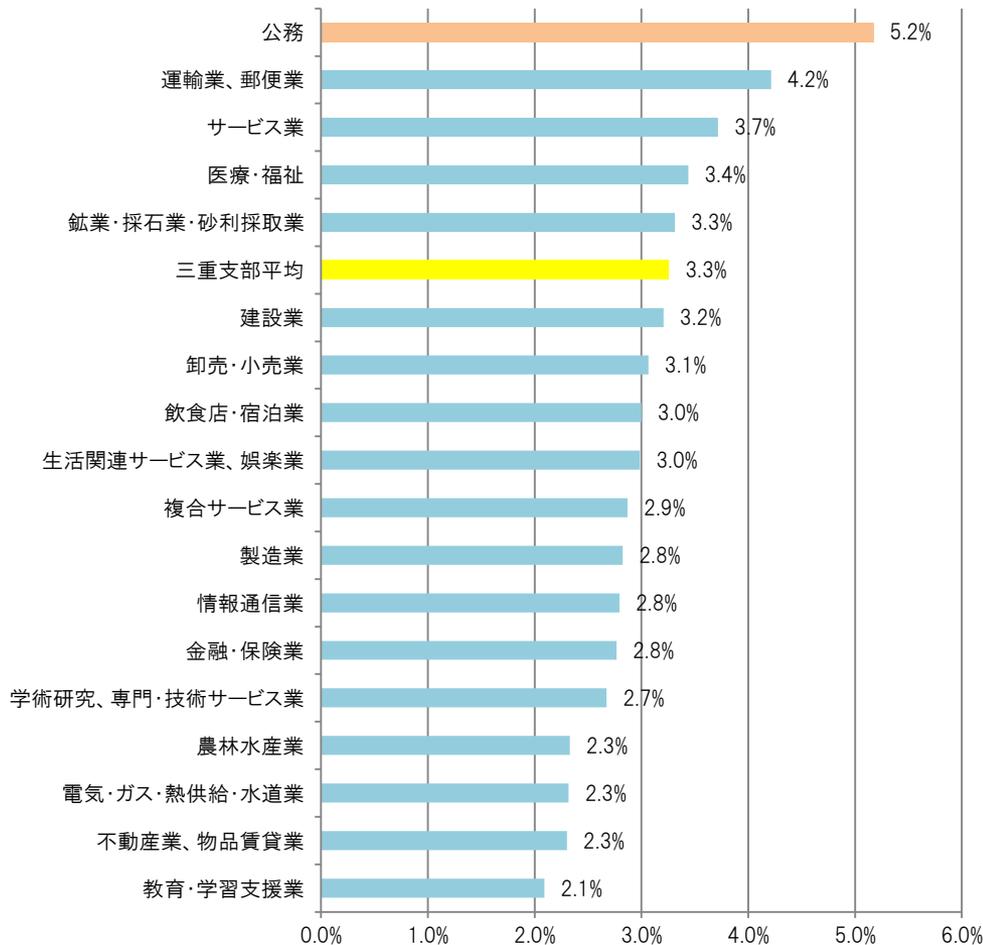


性別・年齢調整後の男女割合で「公務」が22.2%と最も高く、次いで、「情報通信業」(19.7%)、「電気・ガス・熱供給・水道業」(18.6%)の順に高い。最も低い業態は「飲食店・宿泊業」で11.4%であった。

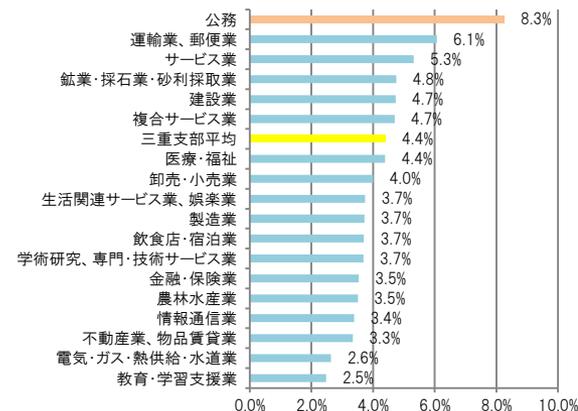
# 業態別 尿糖リスク保有割合

【尿糖リスク】±、+、++、+++の者

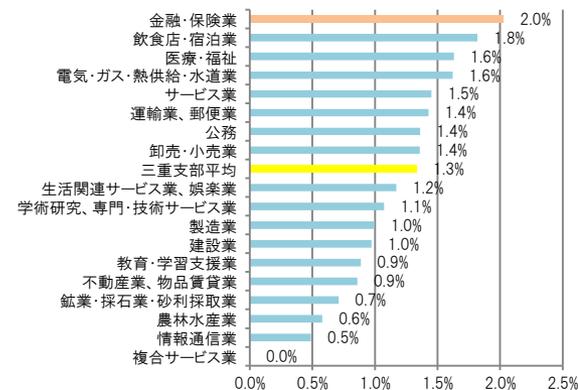
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

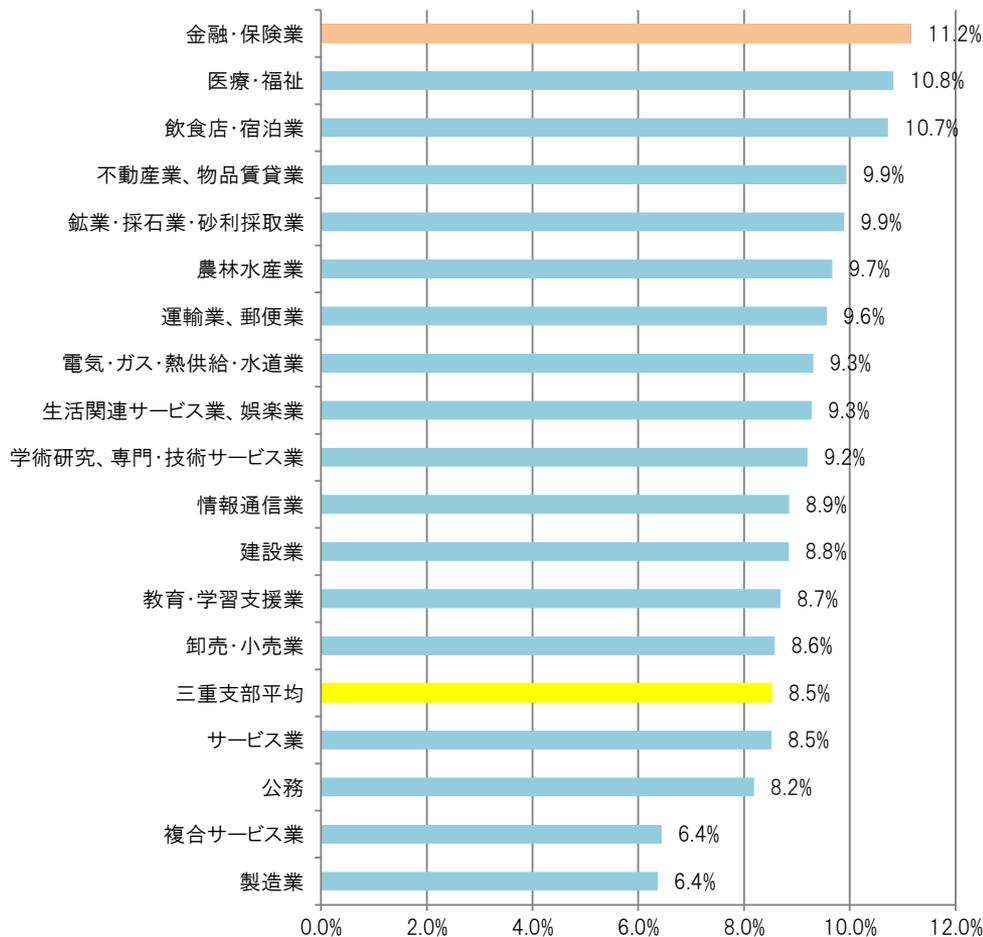


性別・年齢調整後の男女割合で「公務」が5.2%と最も高く、次いで、「運輸業・郵便業」(4.2%)、「サービス業」(3.7%)の順に高い。最も低い業態は「教育・学習支援業」で2.1%であった。

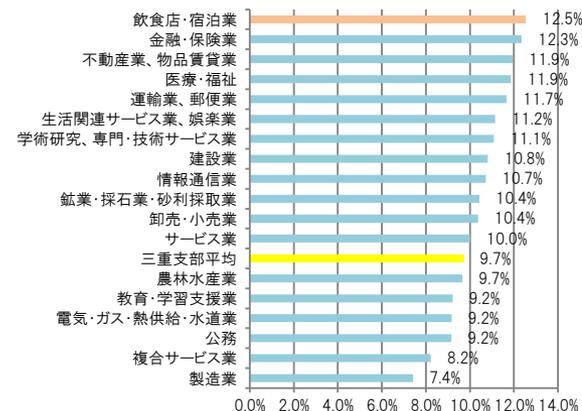
# 業態別 尿蛋白リスク保有割合

【尿蛋白リスク】±、+、++、+++の者

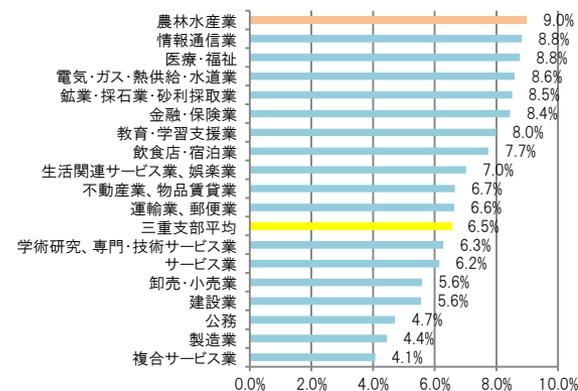
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

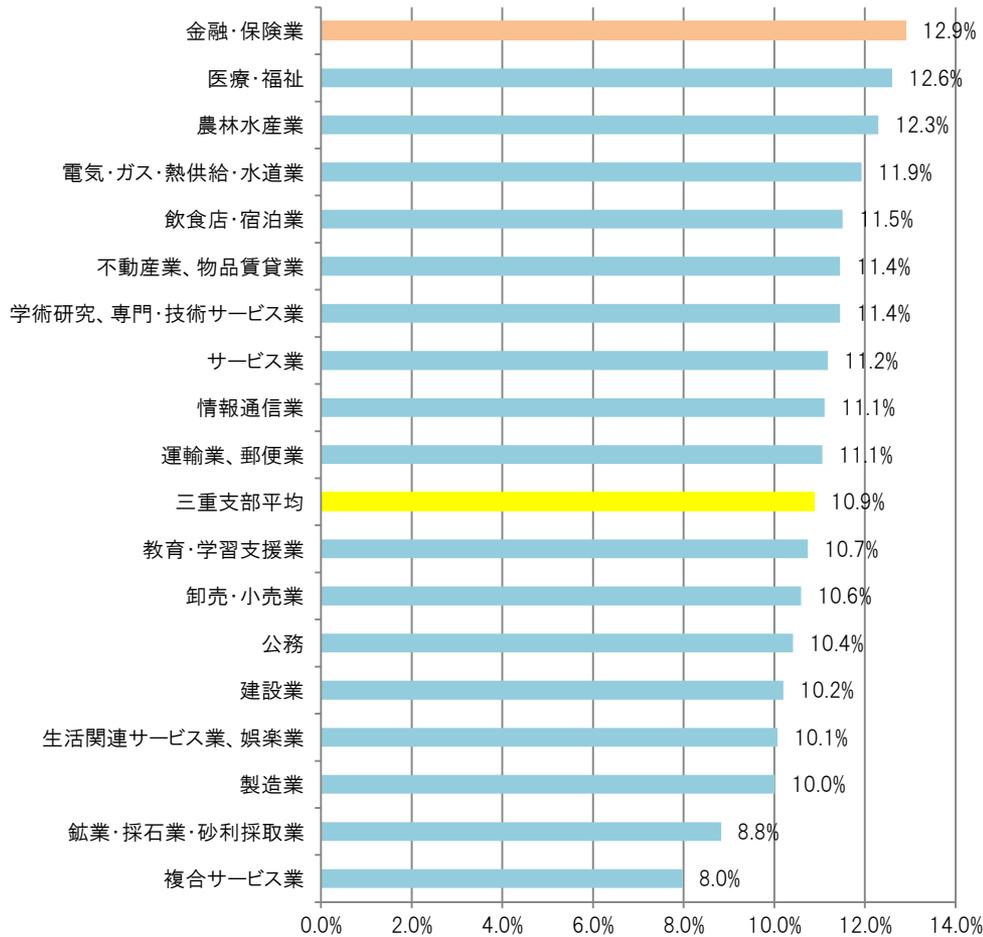


性別・年齢調整後の男女計割合で「金融・保険業」が11.2%と最も高く、次いで、「医療・福祉」(10.8%)、「飲食店・宿泊業」(10.7%)の順に高い。最も低い業態は「複合サービス業」、「製造業」で6.4%であった。

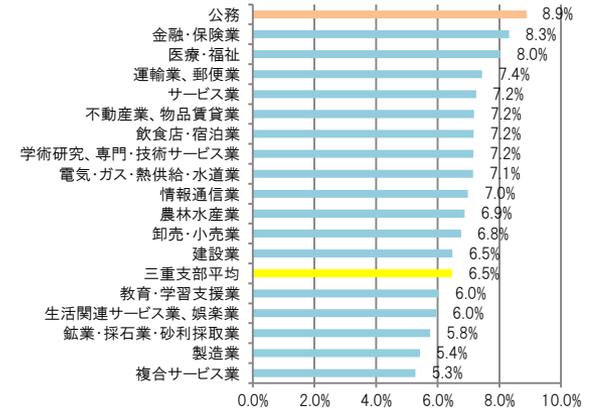
# 業態別 尿潜血リスク保有割合

【尿潜血リスク】±、+、++、+++の者

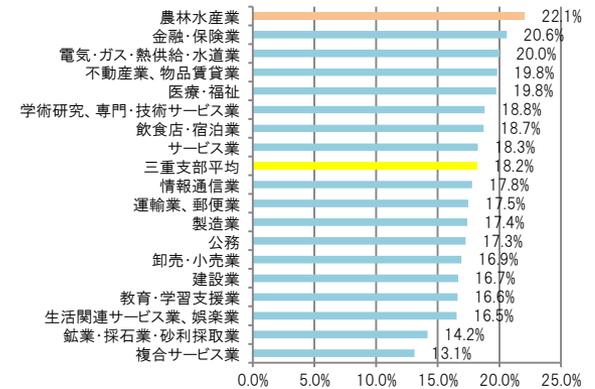
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

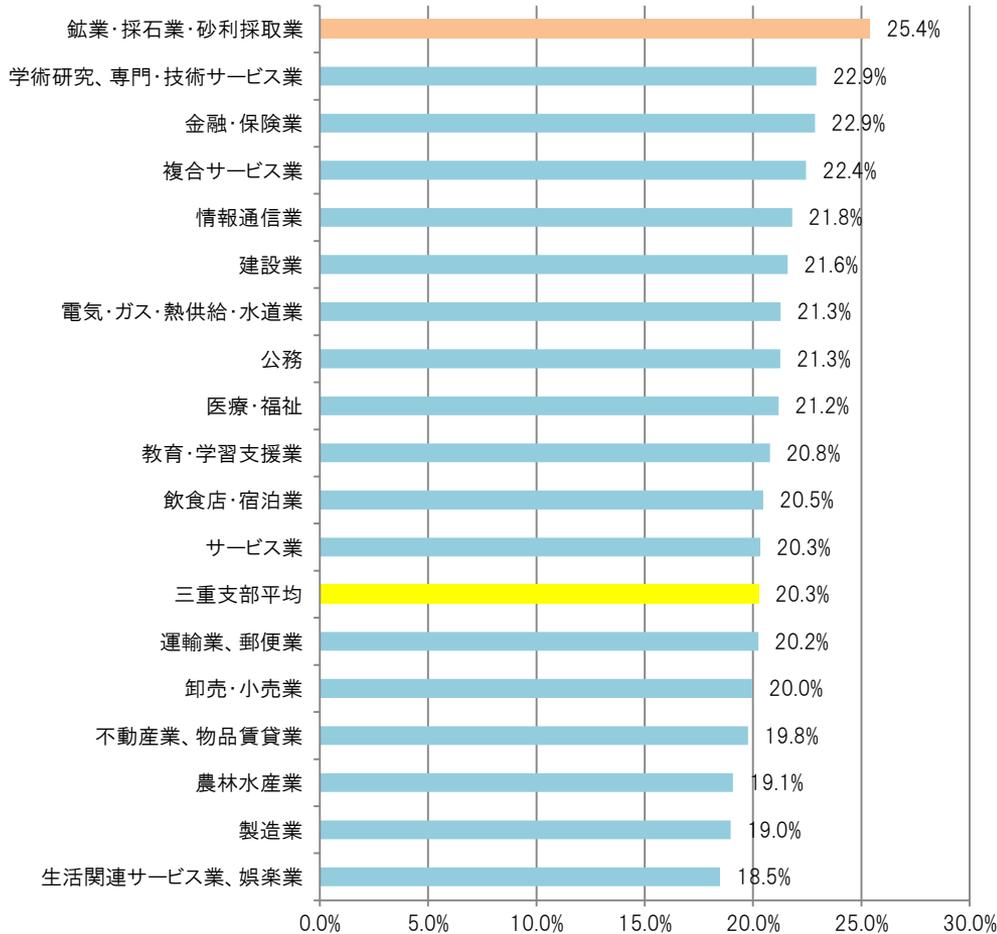


性別・年齢調整後の男女計割合で「金融・保険業」が12.9%と最も高く、次いで、「医療・福祉」(12.6%)、「農林水産業」(12.3%)の順に高い。最も低い業態は「複合サービス業」で8.0%であった。

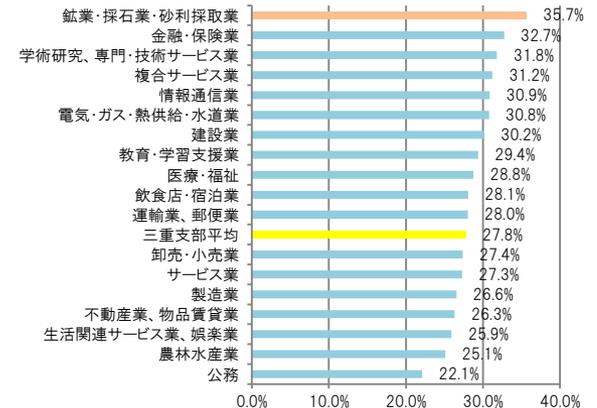
# 業態別 GPTリスク保有割合

【GPTリスク】GPT 31U/L以上

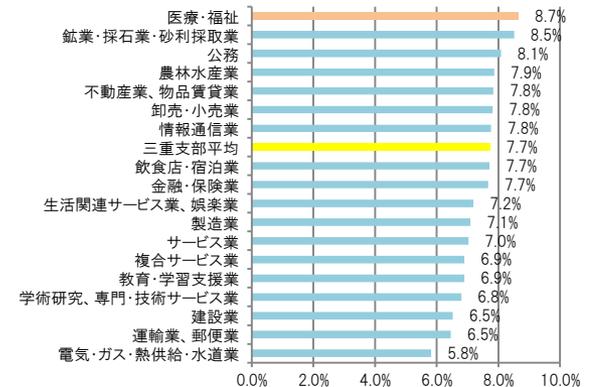
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

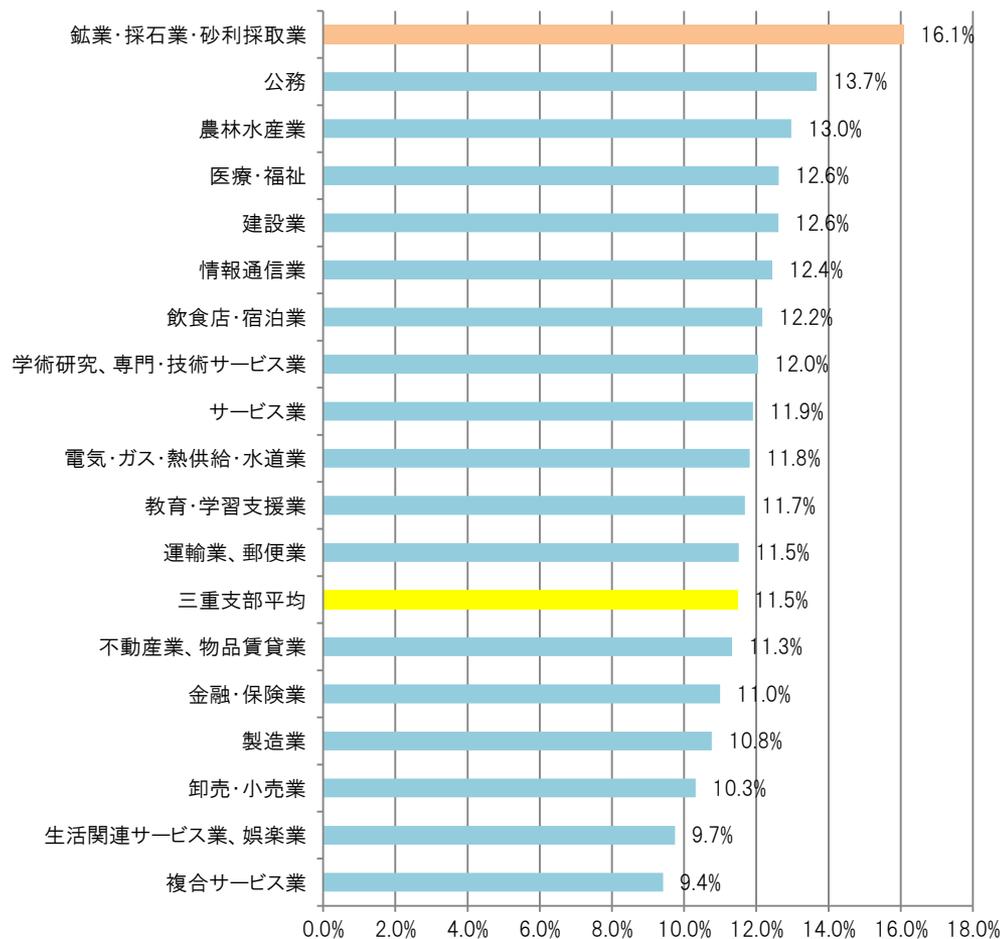


性別・年齢調整後の男女割合で「鉱業・採石業・砂利採取業」が25.4%と最も高く、次いで、「学術研究、専門・技術サービス業」(22.9%)、「金融・保険業」(22.9%)の順に高い。最も低い業態は「生活関連サービス業、娯楽業」で18.5%であった。

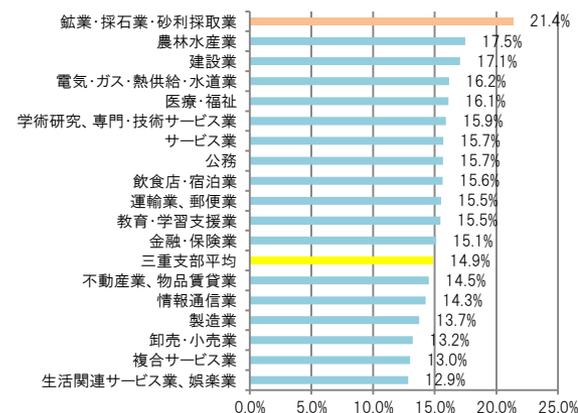
# 業態別 GOTリスク保有割合

【GOTリスク】 GOT 31U/L以上

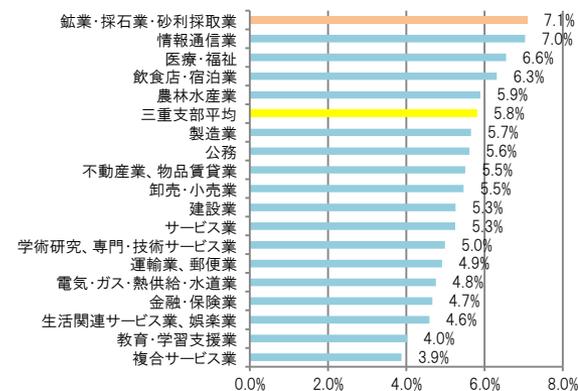
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

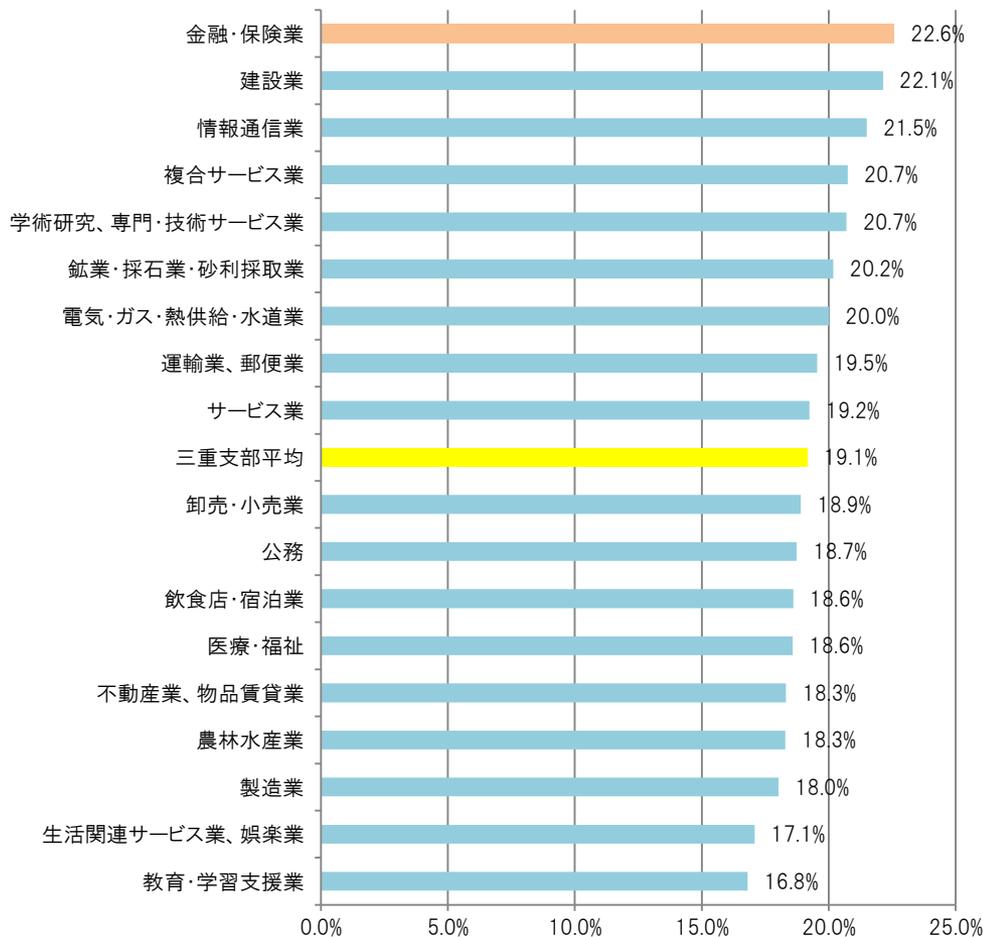


性別・年齢調整後の男女割合で「鉱業・採石業・砂利採取業」が16.1%と最も高く、次いで、「公務」(13.7%)、「農林水産業」(13.0%)の順に高い。最も低い業態は「複合サービス業」で9.4%であった。

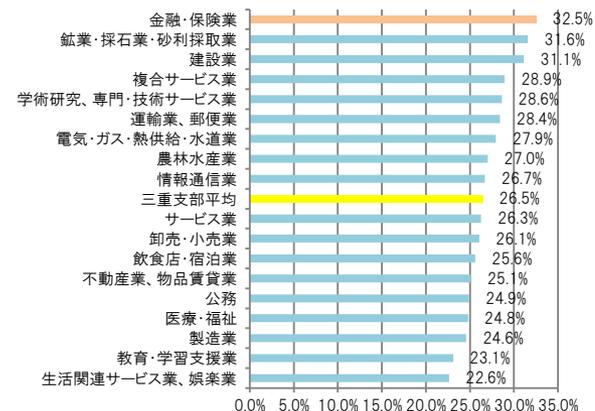
# 業態別 γ-GTPリスク保有割合

【γ-GTPリスク】 γ-GTPリスク 51U/L以上

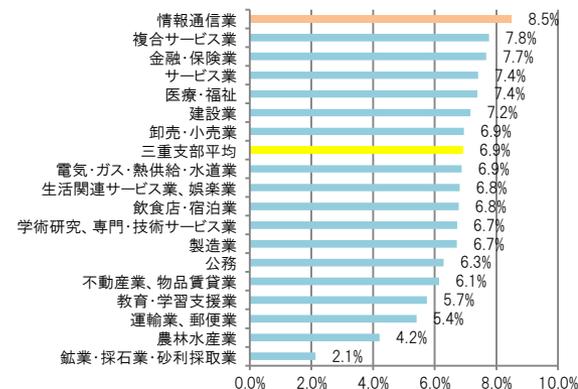
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)



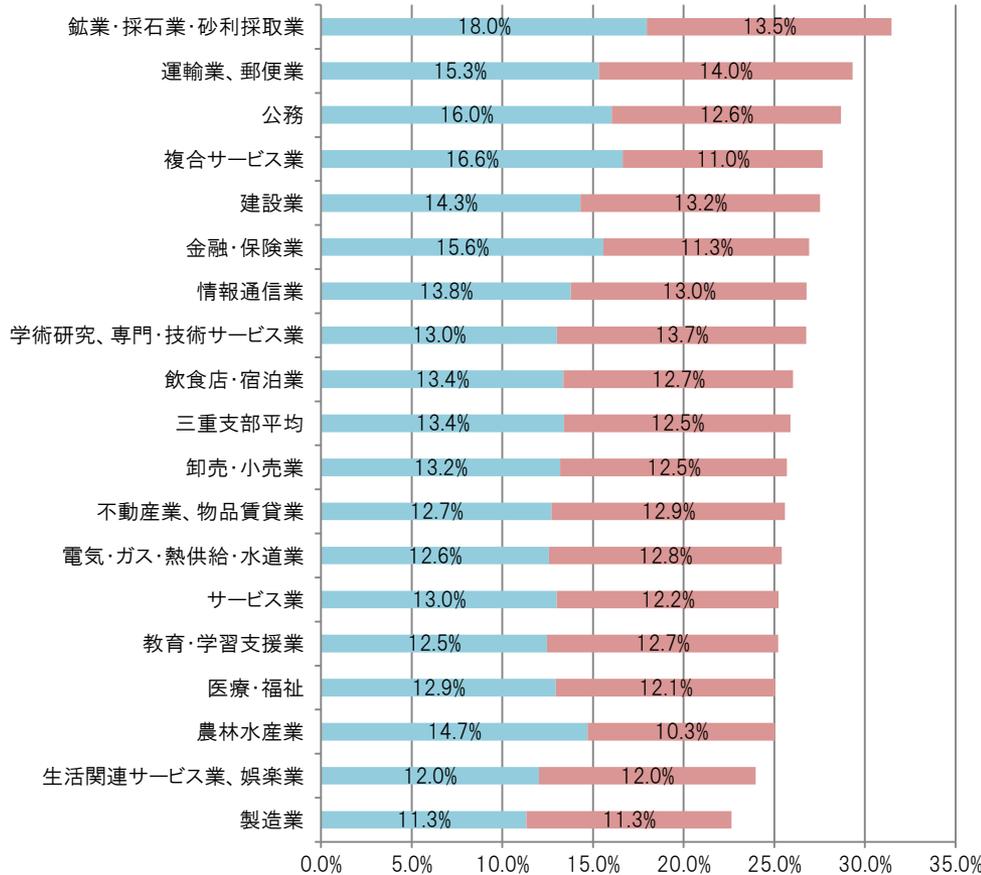
性別・年齢調整後の男女割合で「金融・保険業」が22.6%と最も高く、次いで、「建設業」(22.1%)、「情報通信業」(21.5%)の順に高い。最も低い業態は「教育・学習支援業」で16.8%であった。

# 業態別 メタボリックシンドロームリスク保有割合

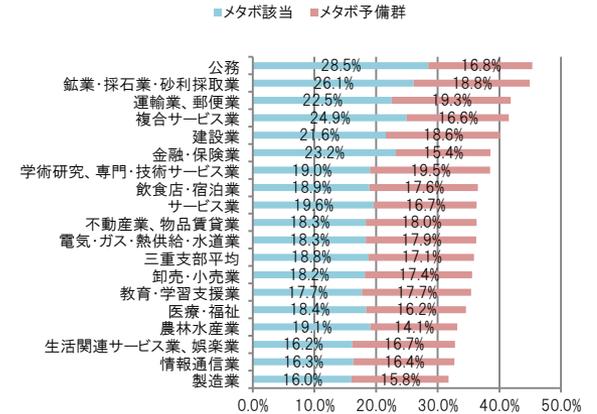
【メタボリックリスク該当】 腹囲リスク+血圧・脂質・代謝リスクのうち2項目以上該当  
 【メタボ予備群該当】 腹囲リスク+血圧・脂質・代謝リスクのいずれか1項目該当

性別・年齢構成比を調整後

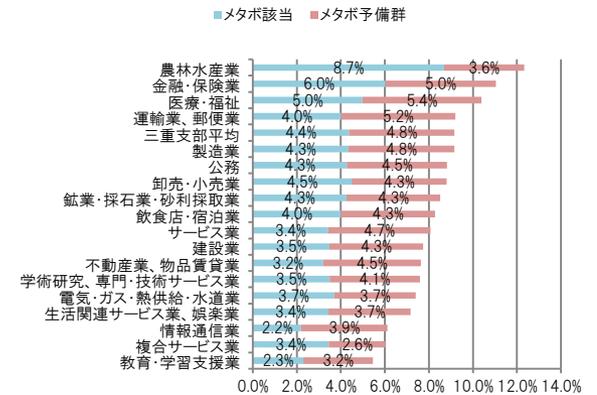
■メタボ該当 ■メタボ予備群該当



男性 (参考)



女性 (参考)



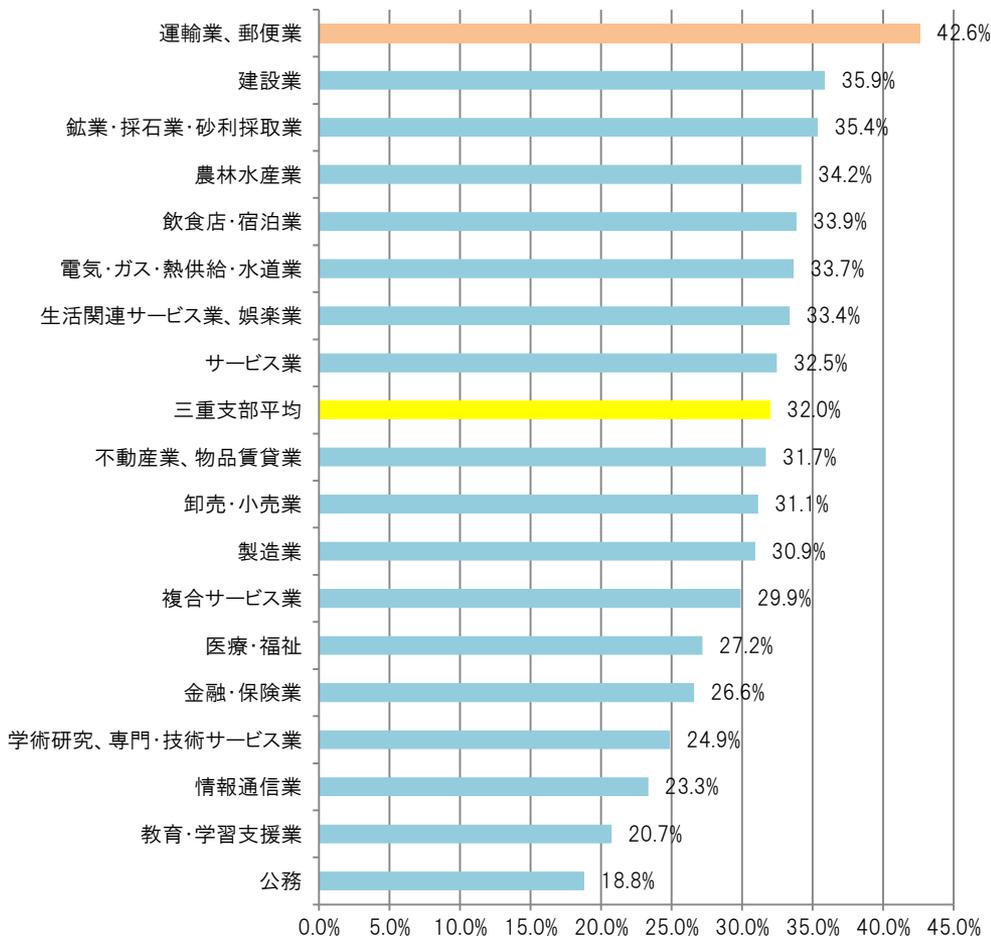
メタボリックリスク該当者、メタボ予備群該当者を合わせたリスク保有割合は、性別・年齢調整後の男女計割合で「鉱業・採石業・砂利採取業」が31.5%と最も高く、次いで、「運輸業、郵便業」(29.3%)、「公務」(28.6%)の順に高い。最も低い業態は「製造業」で22.6%であった。

# 健診質問票項目別リスク保有割合

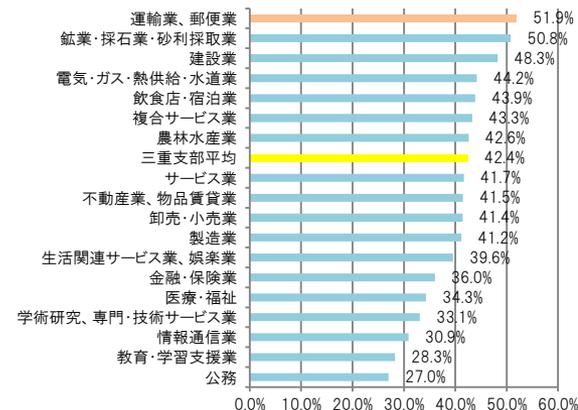
# 業態別 喫煙率

【質問内容】現在、たばこを習慣的に吸っている  
※喫煙している者の割合を計算

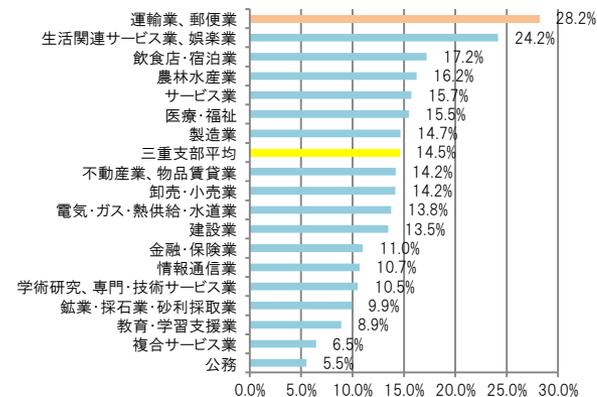
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

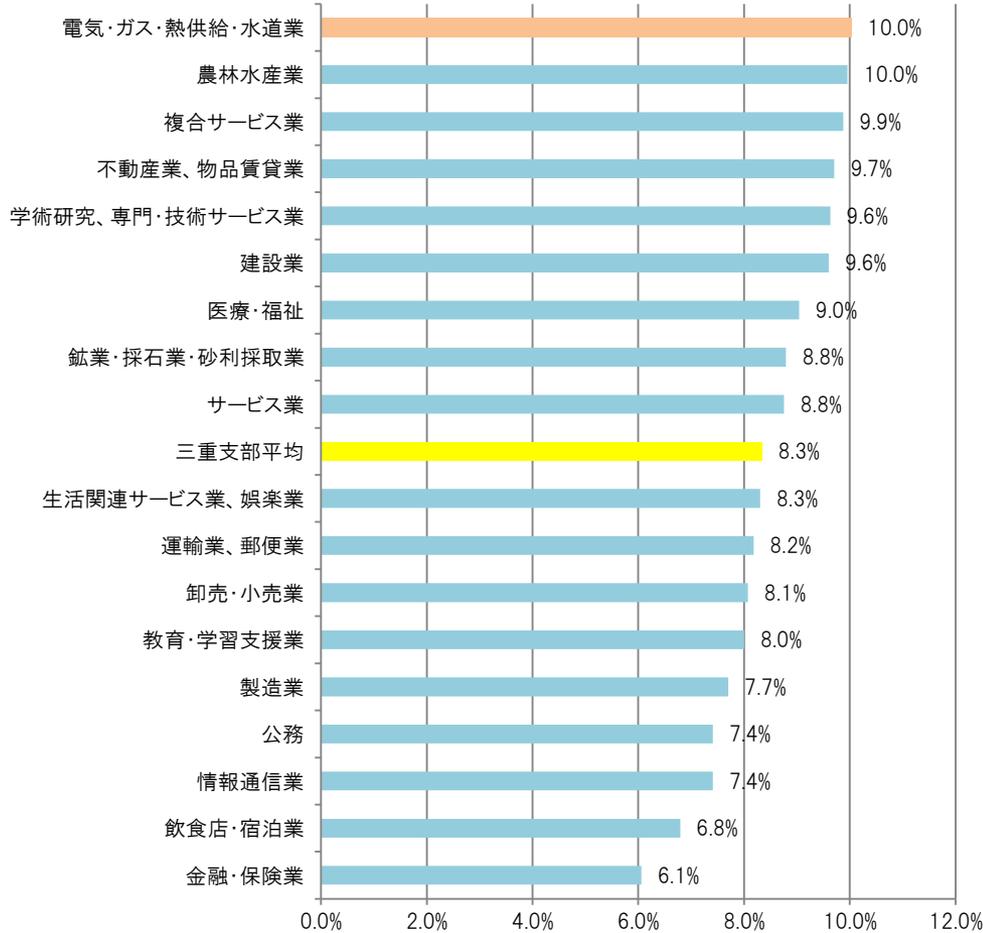


性別・年齢調整後の男女割合で「運輸業、郵便業」が42.6%と最も高く、次いで、「建設業」(35.9%)、「鉱業・採石業・砂利採取業」(35.4%)の順に高い。最も低い業態は「公務」で18.8%であった。最も高い業界と最も低い業界では23.8ポイントの差があった。

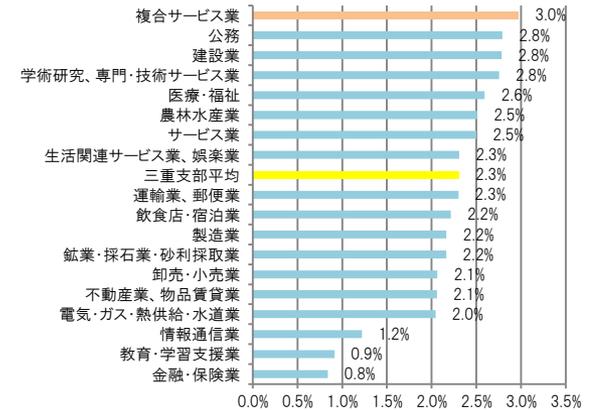
# 業態別 貧血該当者の割合

【質問内容】医師から、貧血といわれたことがある。  
※貧血といわれた者の割合を計算

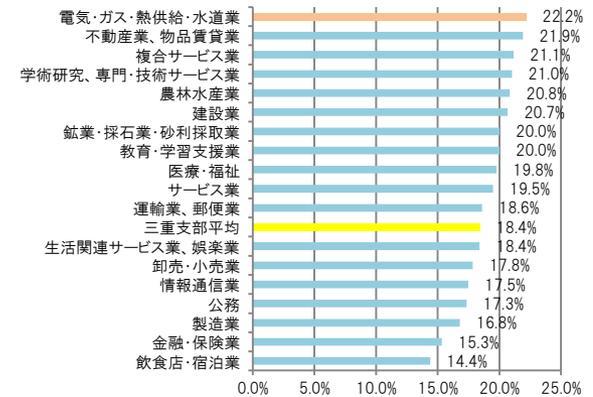
性別・年齢構成比を調整後



男性（参考）



女性（参考）

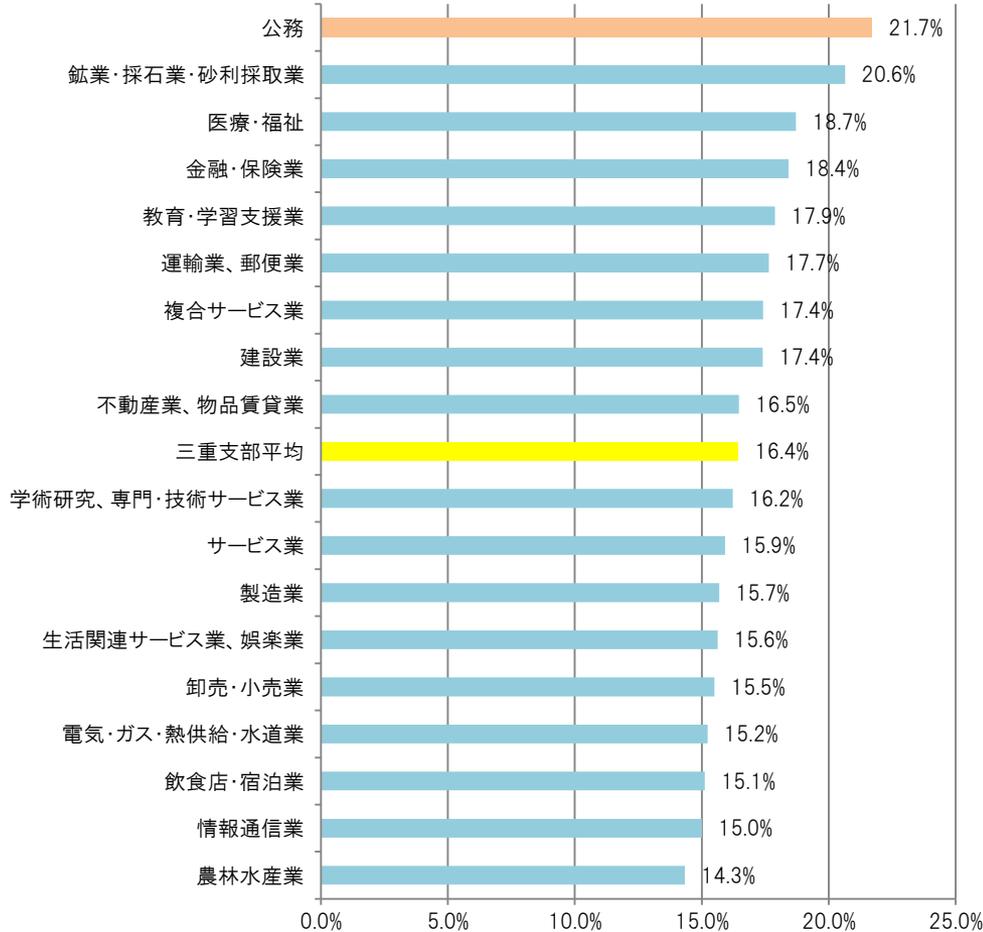


性別・年齢調整後の男女計割合で「電気・ガス・熱供給・水道業」、「農林水産業」が10.0%と最も高く、次いで、「複合サービス業」(9.9%)、「不動産業、物品賃貸業」(9.7%)の順に高い。最も低い業態は「金融・保険業」で6.1%であった。

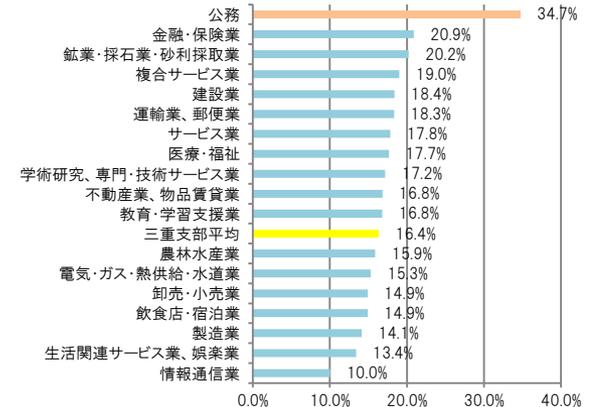
# 業態別 高血圧治療薬の服用者割合

【質問内容】血圧を下げる薬を服用している。  
※服用者の割合を計算

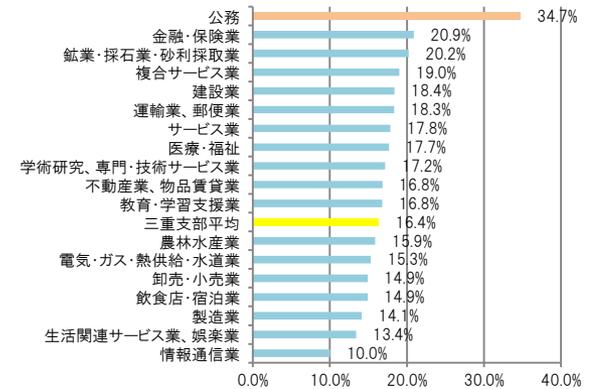
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

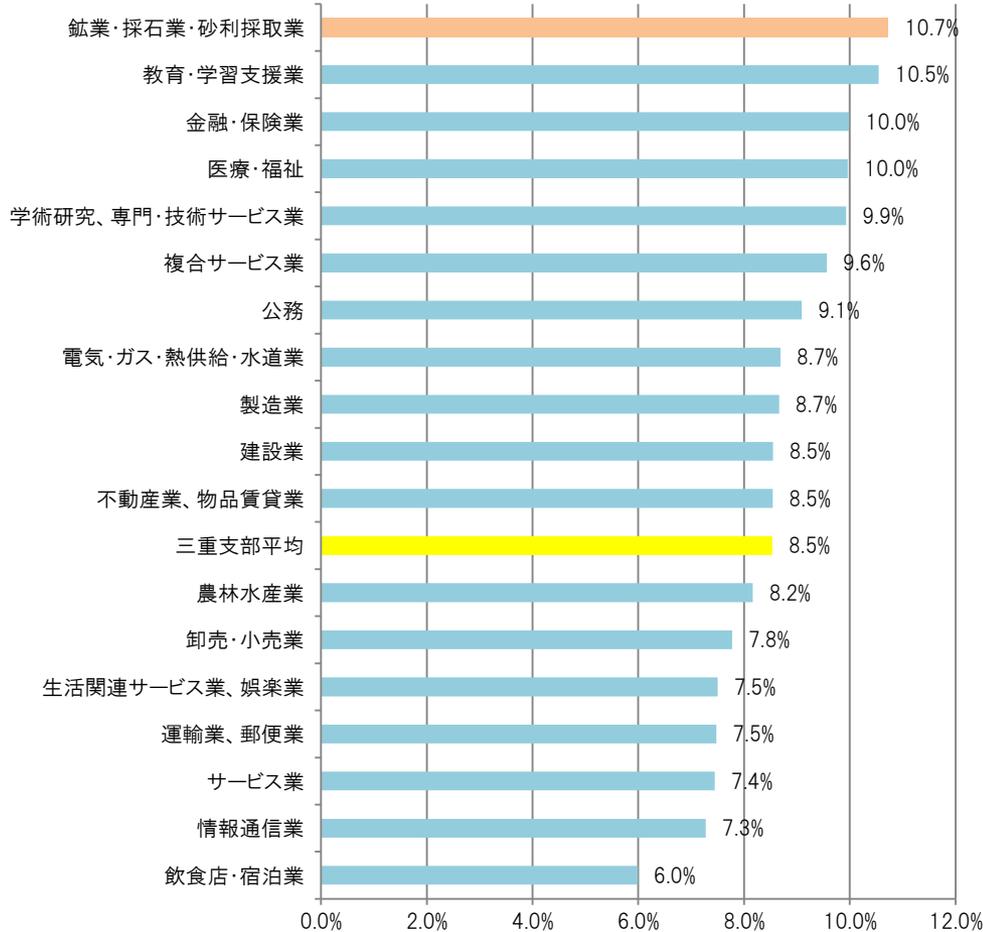


性別・年齢調整後の男女計割合で「公務」が21.7%と最も高く、次いで、「鉱業・採石業・砂利採取業」(20.6%)、「医療・福祉」(18.7%)の順に高い。最も低い業態は「農林水産業」で14.3%であった。

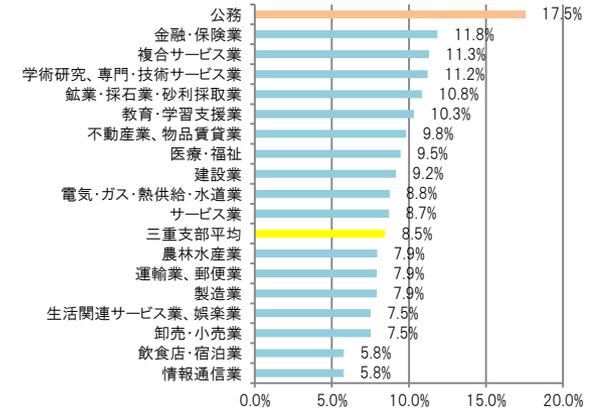
# 業態別 脂質異常症治療薬の服用者割合

【質問内容】コレステロールを下げる薬を服用している。  
※服用者の割合を計算

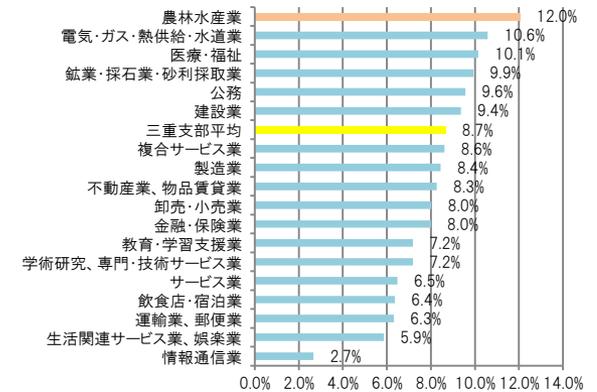
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

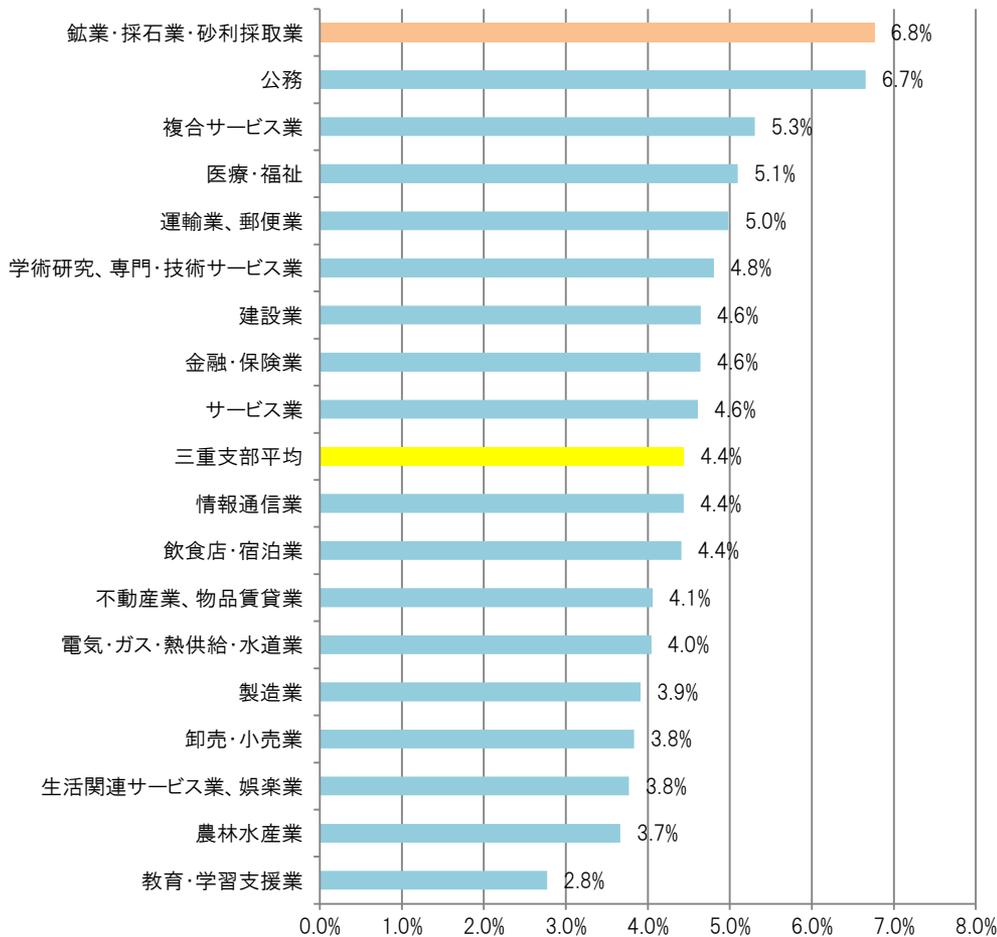


性別・年齢調整後の男女計割合で「鉱業・採石業・砂利採取業」が10.7%と最も高く、次いで、「学習支援業」(10.5%)、「金融・保険業」、「医療・福祉」(10.0%)の順に高い。最も低い業態は「飲食店・宿泊業」で6.0%であった。

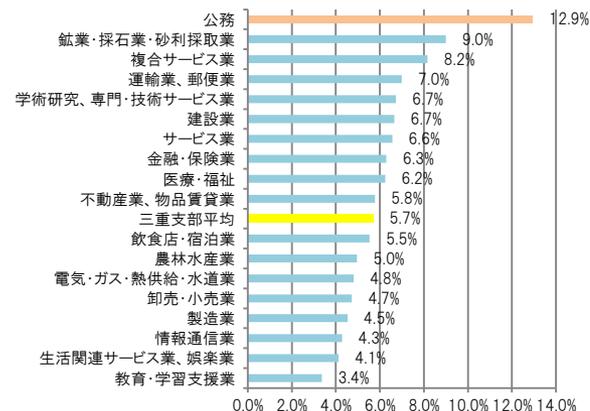
# 業態別 糖尿病治療薬の服用者割合

【質問内容】インスリン注射または血糖を下げる薬を服用している。  
※服用者の割合を計算

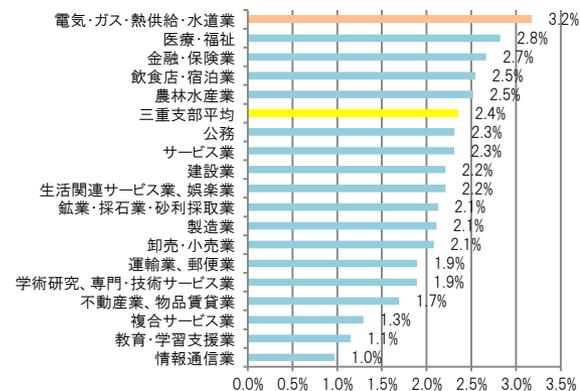
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

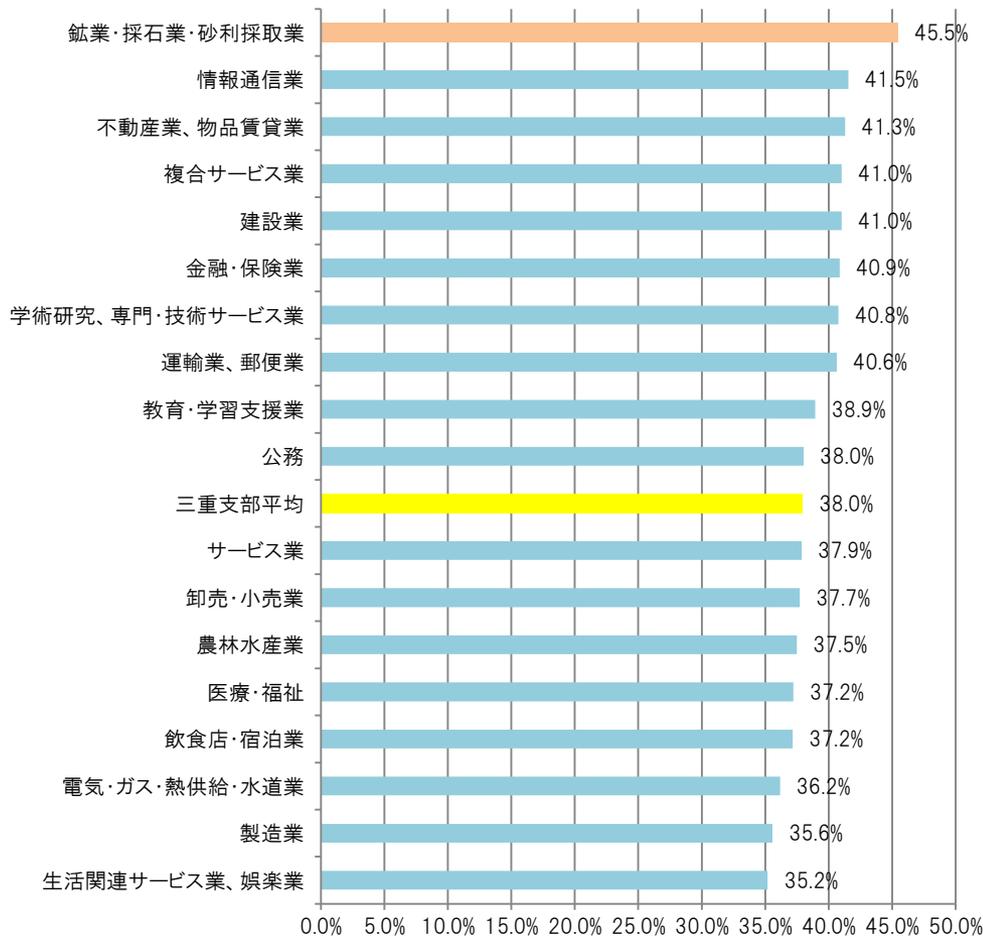


性別・年齢調整後の男女計割合で「鉱業・採石業・砂利採取業」が6.8%と最も高く、次いで、「公務」(6.7%)、「複合サービス業」(5.3%)の順に高い。最も低い業態は「学習支援業」で2.8%であった。

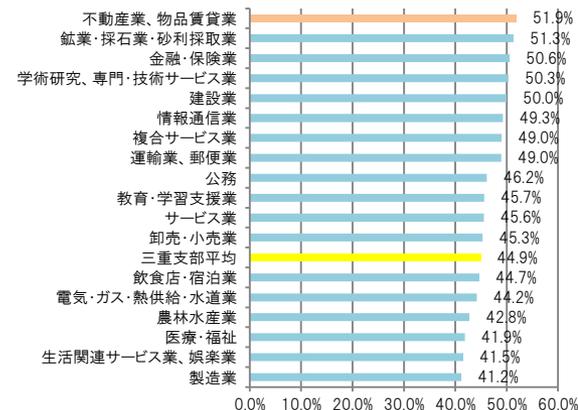
# 業態別 20歳からの体重が増加している者の割合

【質問内容】20歳のときの体重から10kg以上増加している。  
※増加している者の割合を計算

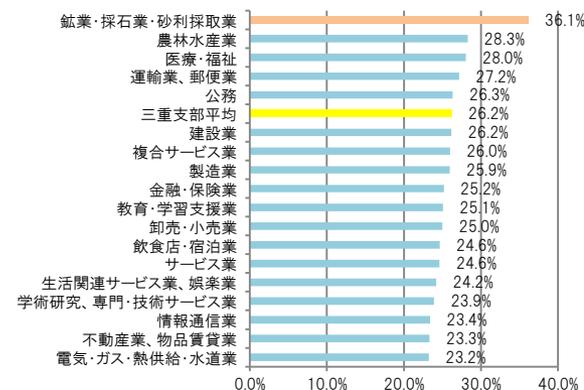
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

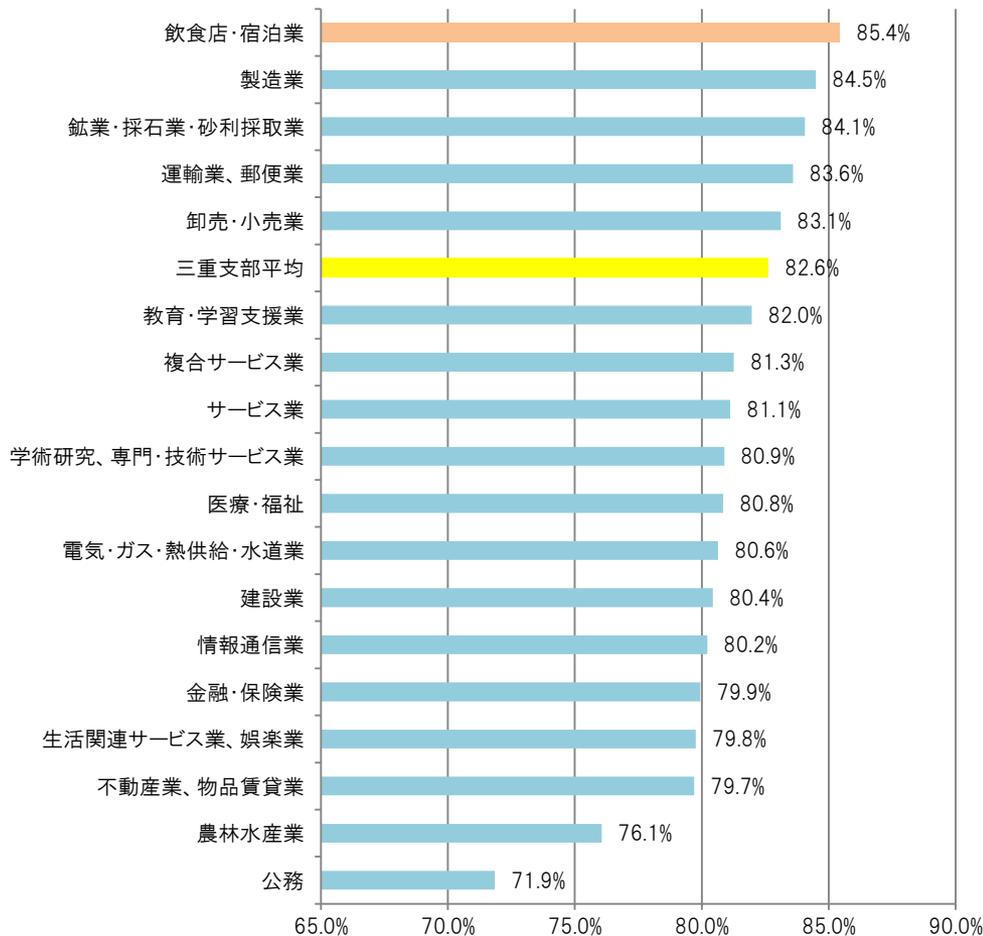


性別・年齢調整後の男女計割合で「鉱業・採石業・砂利採取業」が45.5%と最も高く、次いで、「情報通信業」(41.5%)、「不動産業、物品賃貸業」(41.3%)の順に高い。最も低い業態は「生活関連サービス業、娯楽業」で35.2%であった。

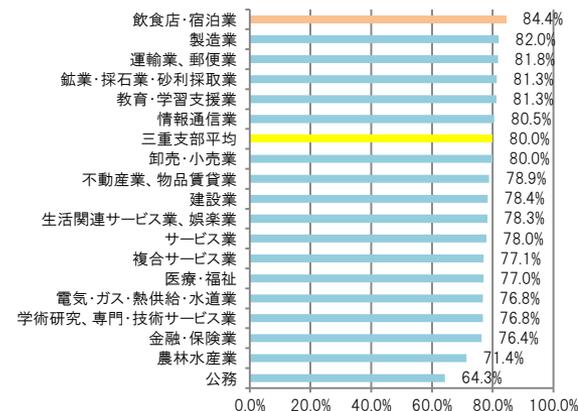
# 業態別 30分以上の運動習慣がない者の割合

【質問内容】1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している。  
※運動を実施していない者がリスクありと捉え、その割合を計算

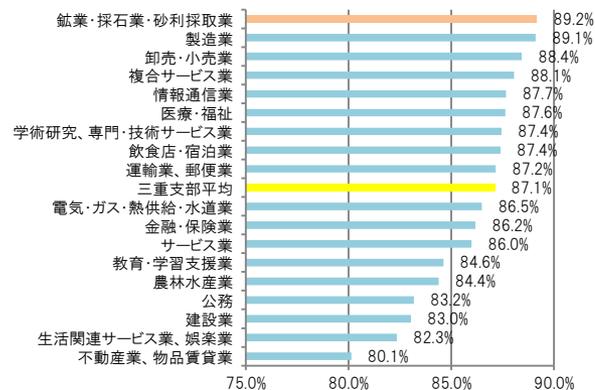
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

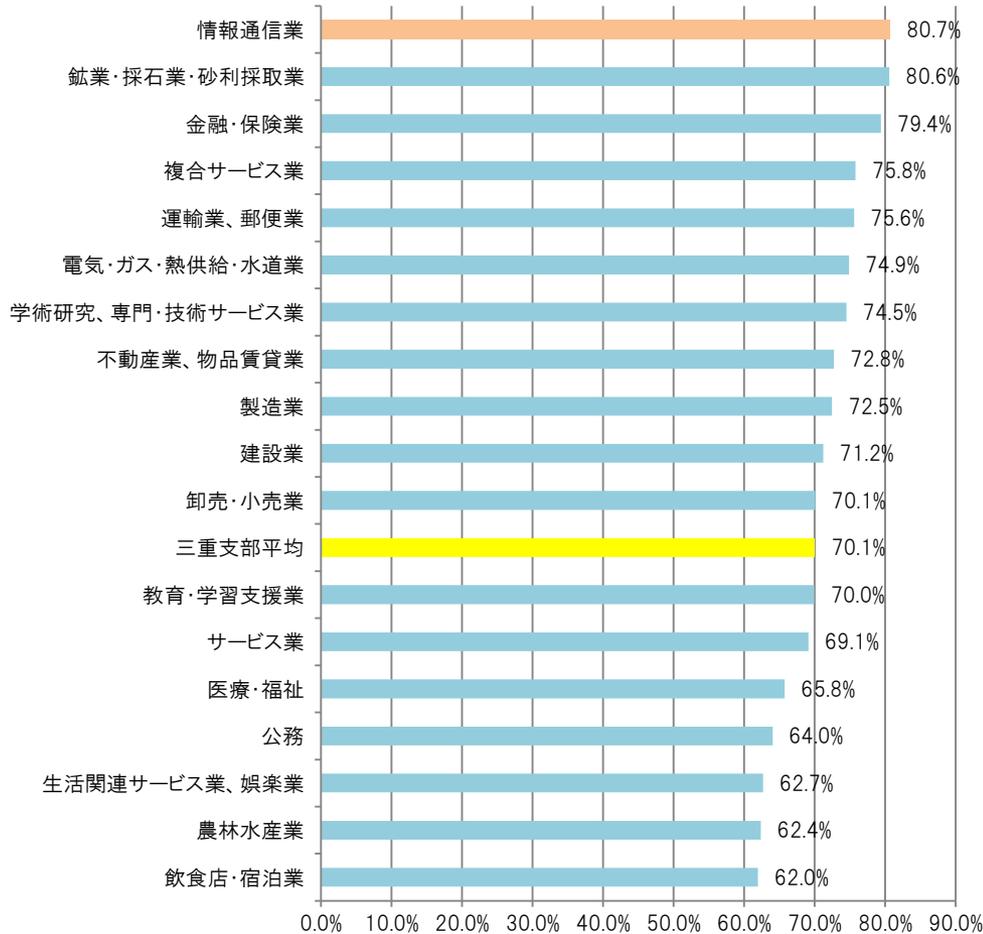


性別・年齢調整後の男女計割合で「飲食店・宿泊業」が85.4%と最も高く、次いで、「製造業」(84.5%)、「鉱業・採石業・砂利採取業」(84.1%)の順に高い。最も低い業態は「公務」で71.9%であった。

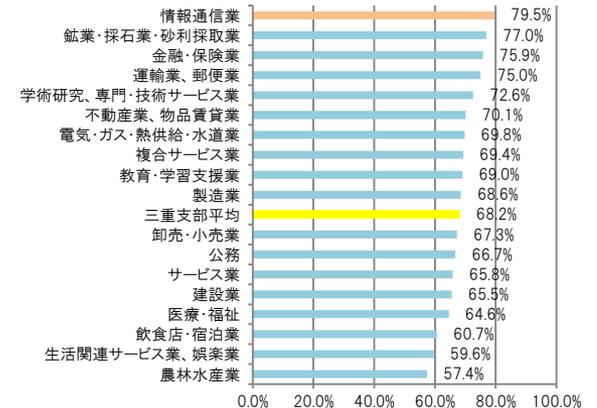
# 業態別 1日1時間以上の身体活動未実施者の割合

【質問内容】日常生活において歩行または同等の身体運動を1日1時間以上実施している。 ※活動を実施していない者がリスクありと捉え、その割合を計算

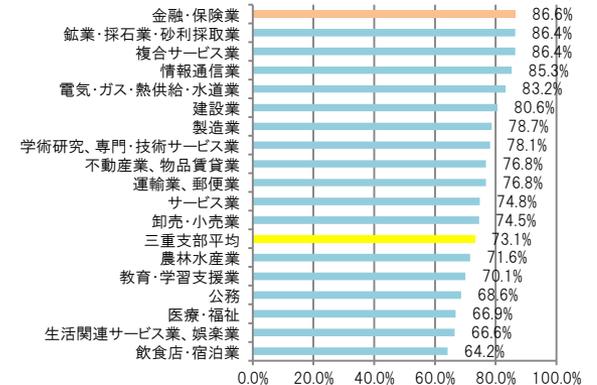
## 性別・年齢構成比を調整後



## 男性 (参考)



## 女性 (参考)

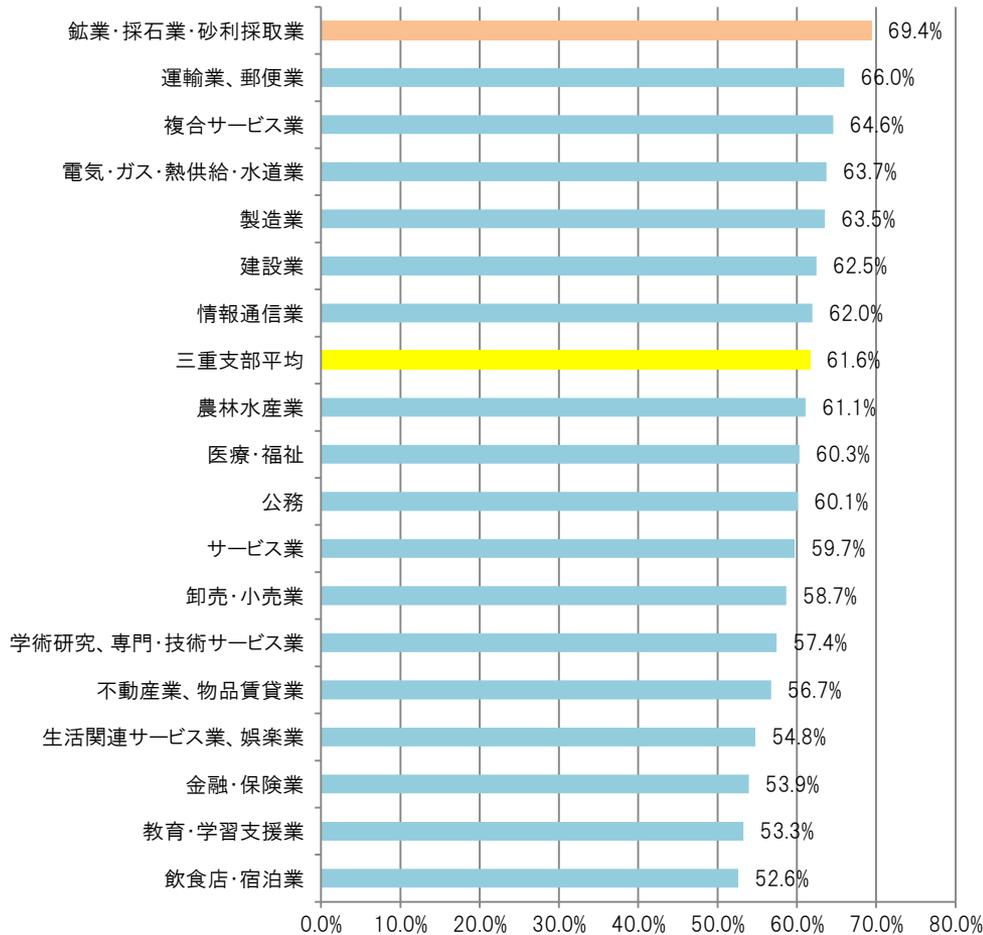


性別・年齢調整後の男女計割合で「情報通信業」が80.7%と最も高く、次いで、「鉱業・採石業・砂利採取業」(80.6%)、「金融・保険業」(79.4%)の順に高い。最も低い業態は「飲食店・宿泊業」で62.0%であった。

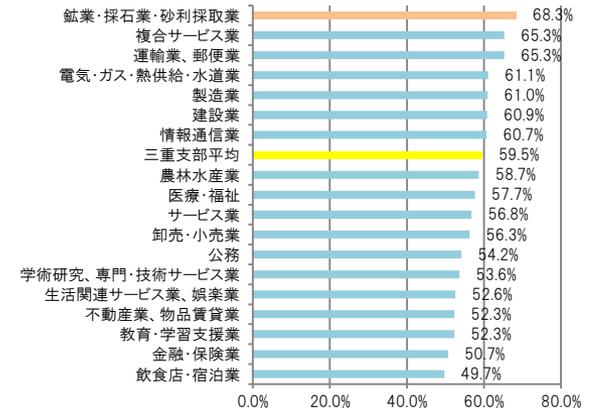
# 業態別 歩行速度が遅い者の割合

【質問内容】 同世代の同性と比較して歩く速度が遅い。  
※歩行速度が遅い者のほうが活動量が少ない傾向があると考えその割合を計算

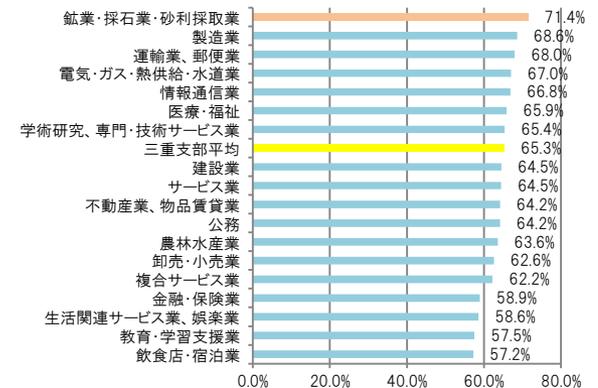
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

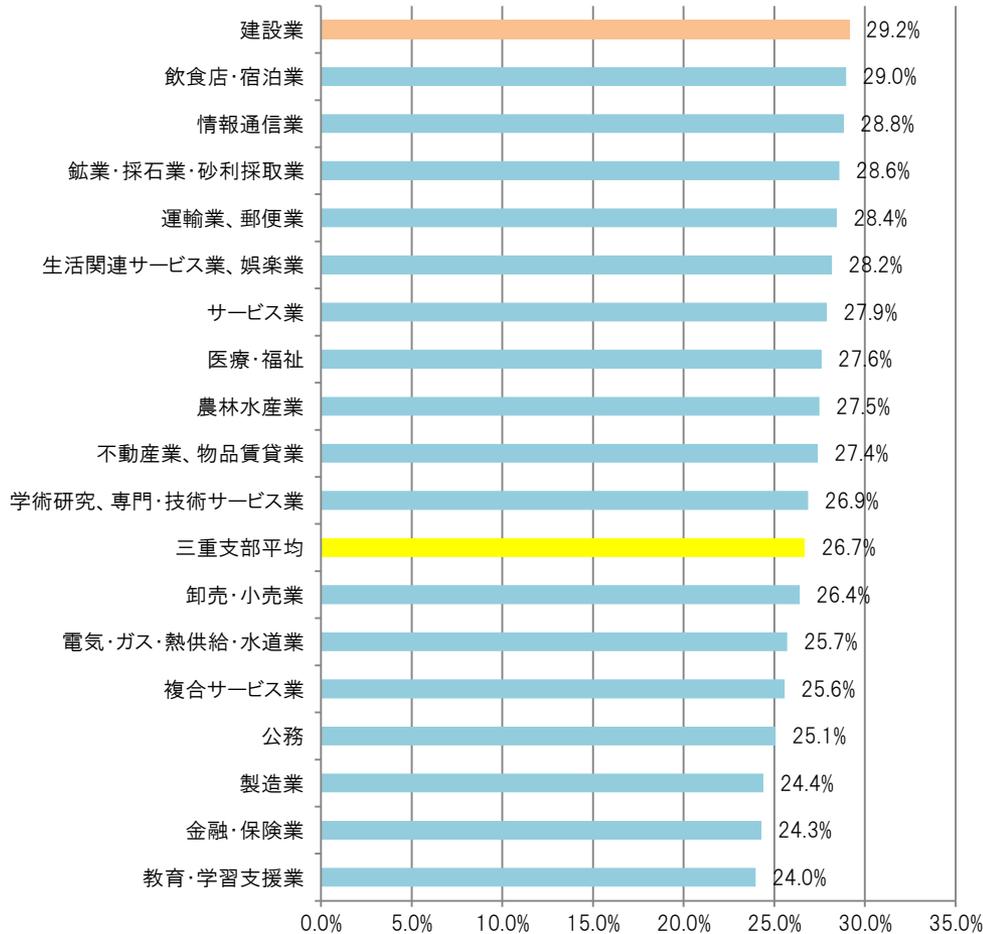


性別・年齢調整後の男女計割合で「鉱業・採石業・砂利採取業」が69.4%と最も高く、次いで、「運輸業、郵便業」(66.0%)、「複合サービス業」(64.6%)の順に高い。最も低い業態は「飲食店・宿泊業」で52.6%であった。

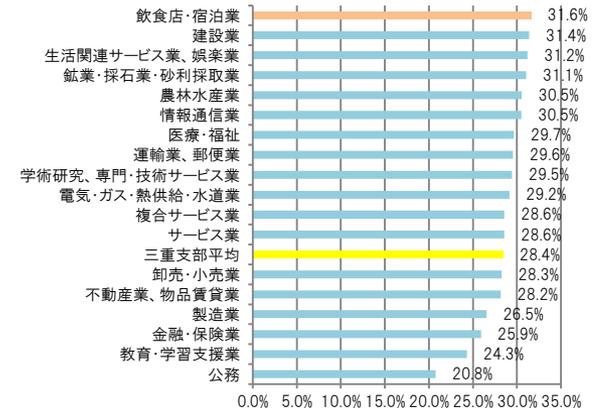
# 業態別 直近1年間で体重の増減がある者の割合

【質問内容】 この1年間で体重の増減が±3kg以上ある。  
※体重の増減がある者の割合を計算

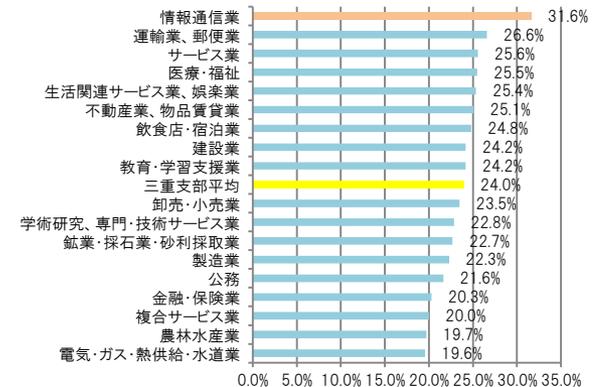
性別・年齢構成比を調整後



男性（参考）



女性（参考）

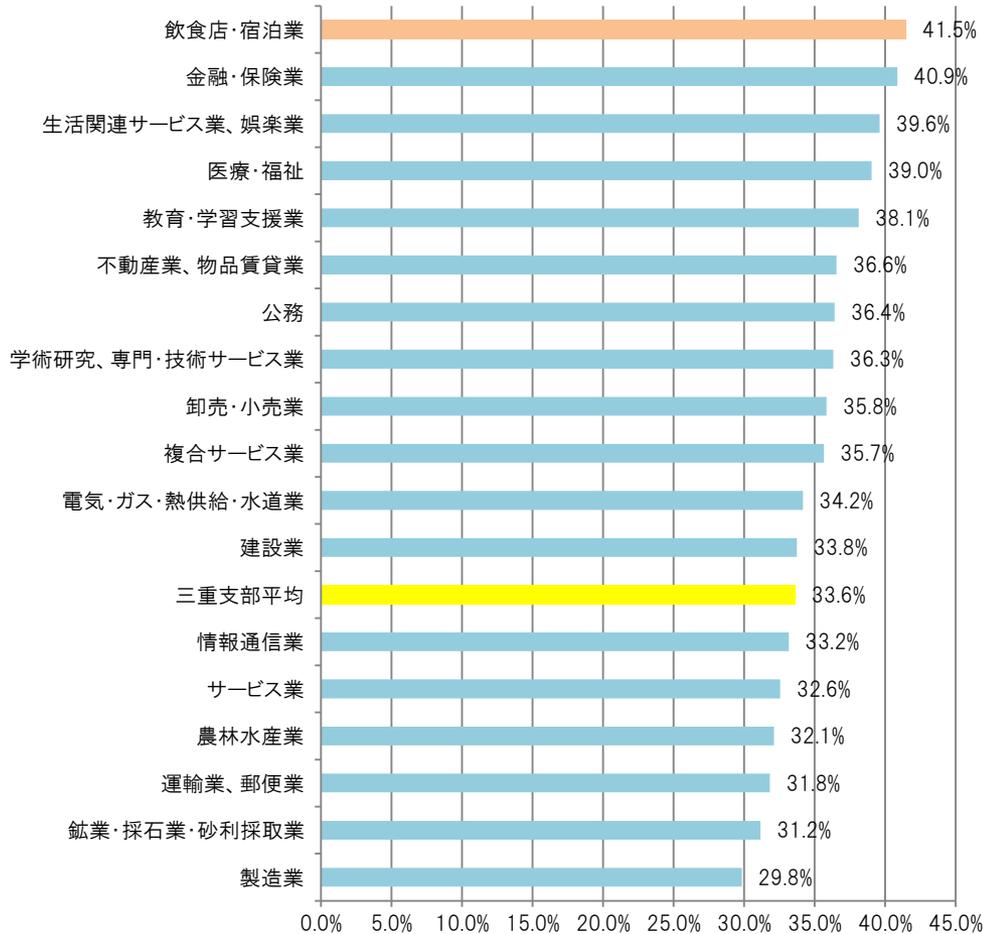


性別・年齢調整後の男女割合で「建設業」が29.2%と最も高く、次いで、「飲食店・宿泊業」(29.0%)、「情報通信業」(28.8%)の順に高い。最も低い業態は「教育・学習支援業」で24.0%であった。

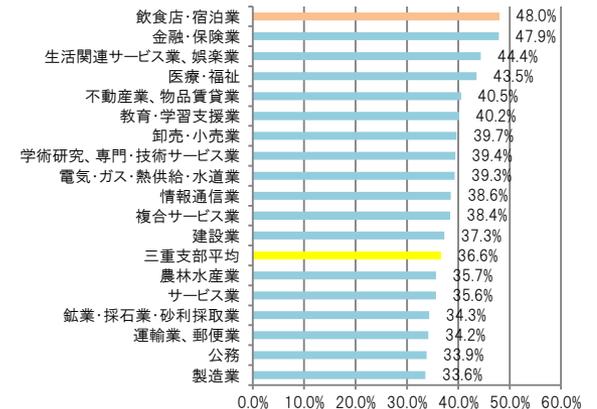
# 業態別 食べる速度が速い者の割合

【質問内容】 人と比較して食べる速度が速い。  
※食べる速度が速い者の割合を計算

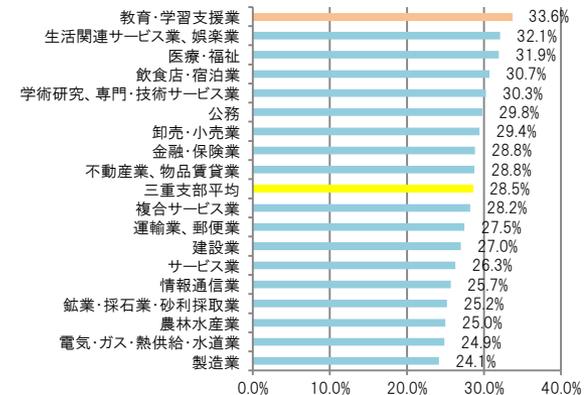
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

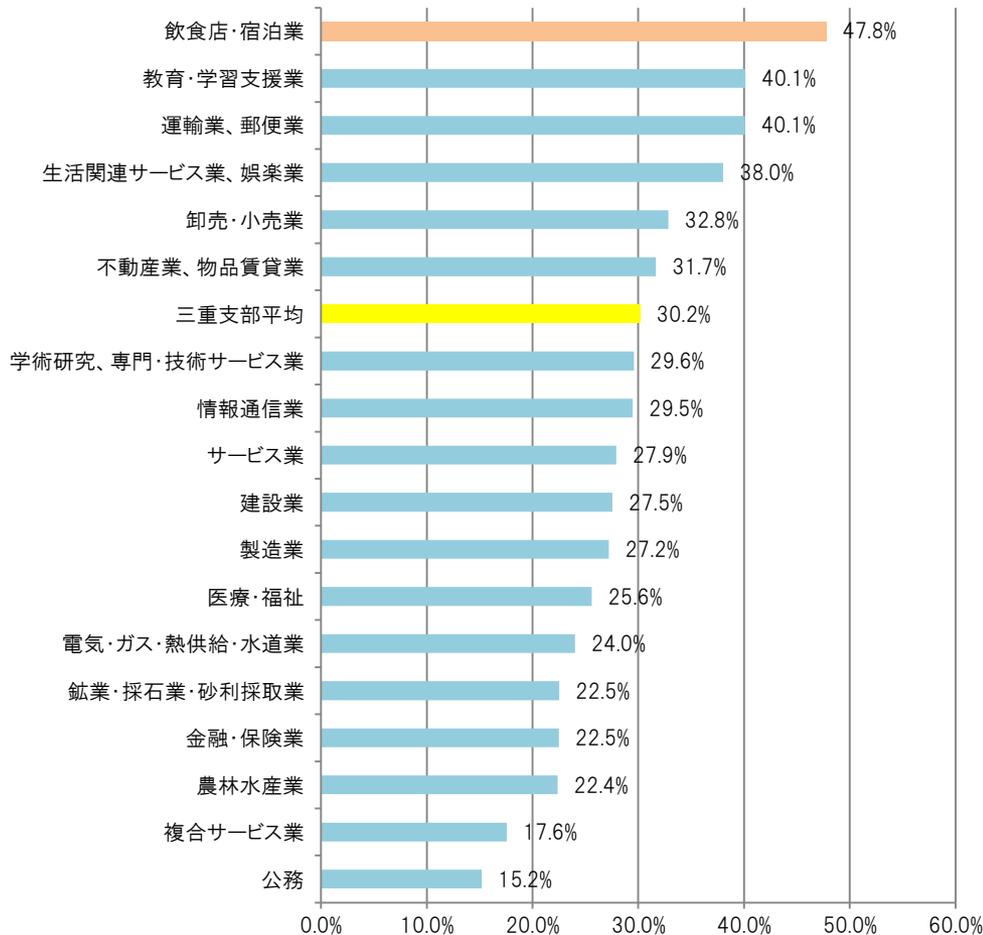


性別・年齢調整後の男女計割合で「飲食店・宿泊業」が41.5%と最も高く、次いで、「金融・保険業」(40.9%)、「生活関連サービス業、娯楽業」(39.6%)の順に高い。最も低い業態は「製造業」で29.8%であった。

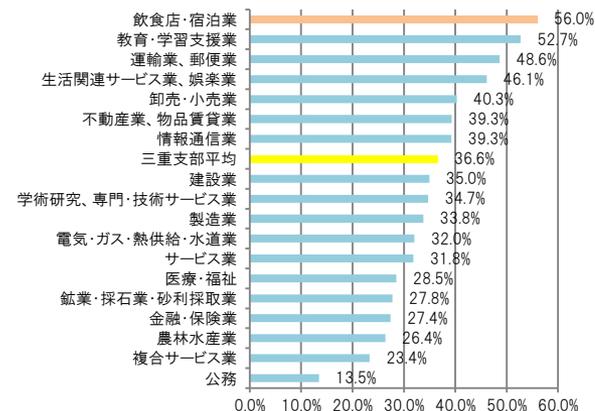
# 業態別 就寝2時間前以内に夕食をとる者の割合

【質問内容】就寝前の2時間以内に夕食をとることが週3回以上ある。  
※就寝前に夕食をとる者の割合を計算

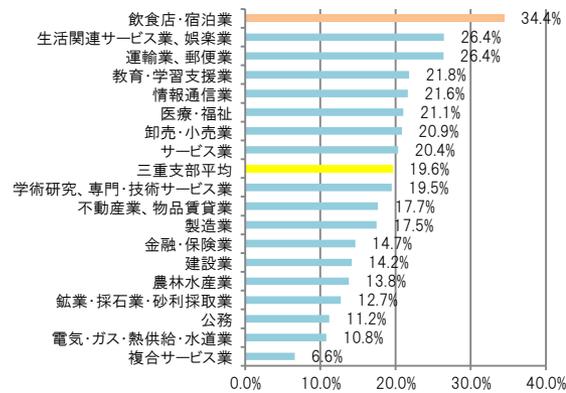
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

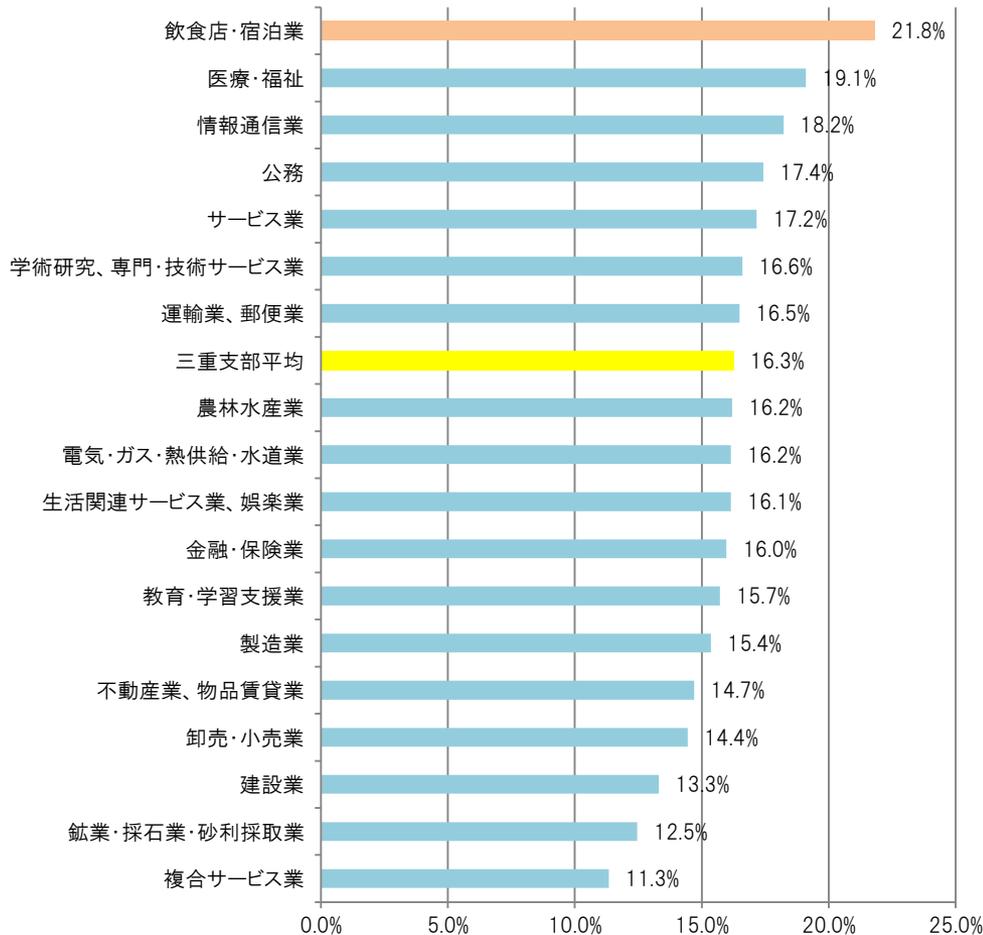


性別・年齢調整後の男女計割合で「飲食店・宿泊業」が47.8%と最も高く、次いで、「教育・学習支援業」(40.1%)、「運輸業、郵便業」(40.1%)の順に高い。最も低い業態は「公務」で15.2%であった。最も高い業界と最も低い業界で32.6ポイントの差があった。

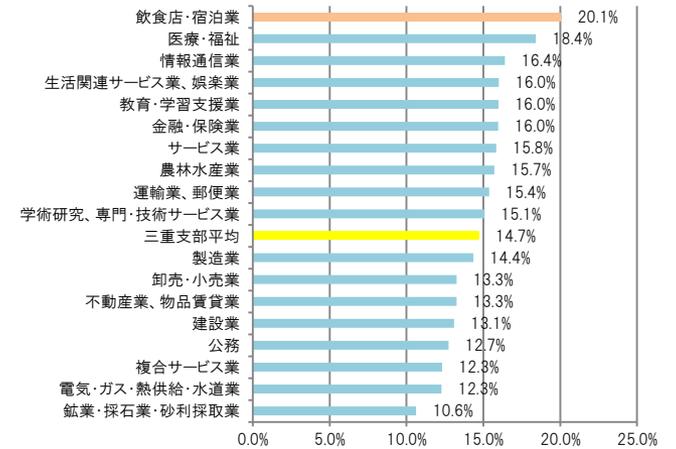
# 業態別 夕食後に間食をとる者の割合

【質問内容】夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。  
※夕食後に間食をとる者の割合を計算

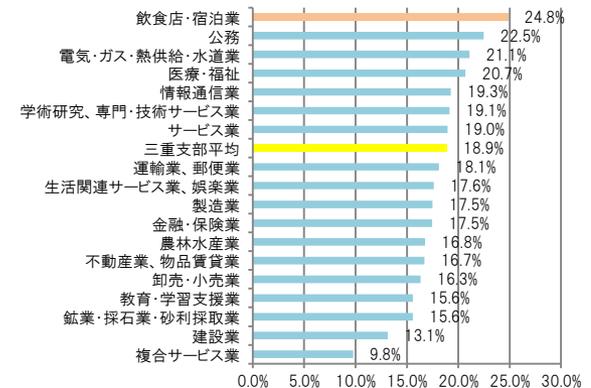
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

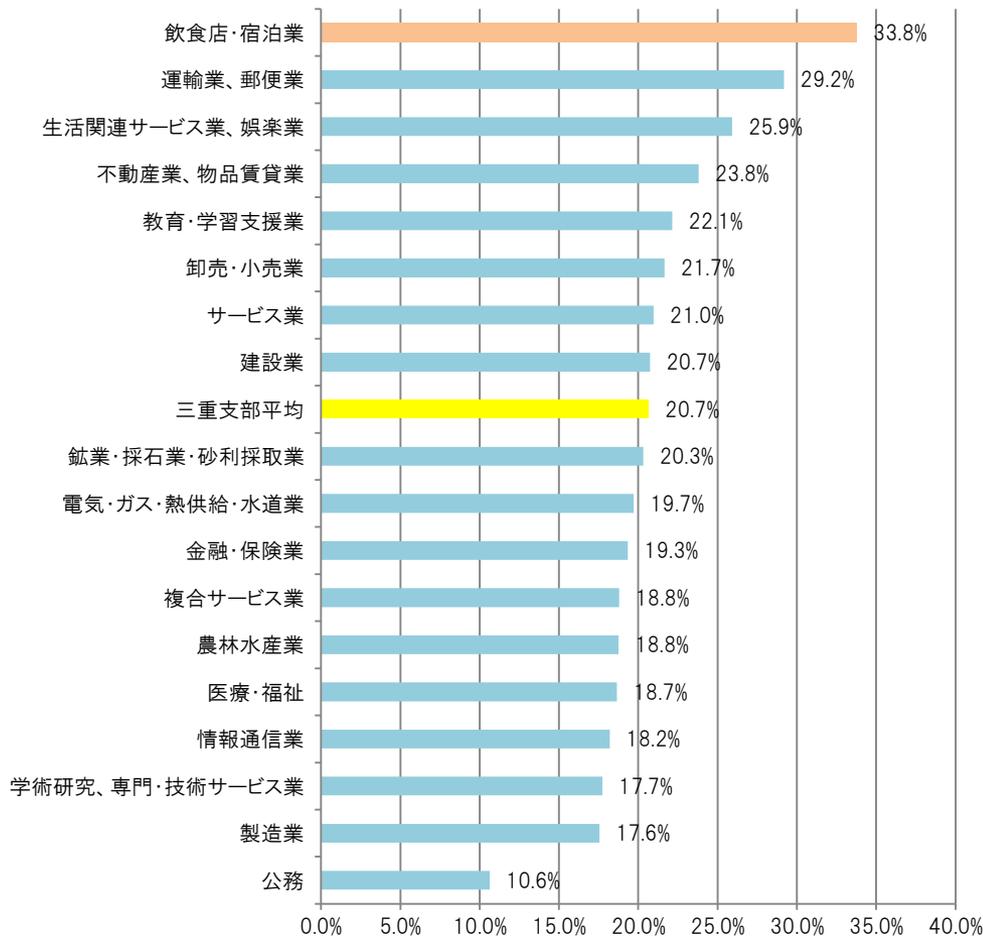


性別・年齢調整後の男女計割合で「飲食店・宿泊業」が21.8%と最も高く、次いで、「医療・福祉」(19.1%)、「情報通信業」(18.2%)の順に高い。最も低い業態は「複合サービス業」で11.3%であった。

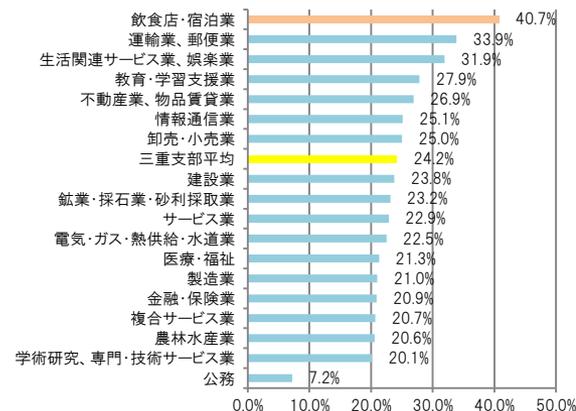
# 業態別 朝食を抜くことが多い者の割合

【質問内容】 朝食を抜くことが週3回以上ある。  
※朝食を抜く者の割合を計算

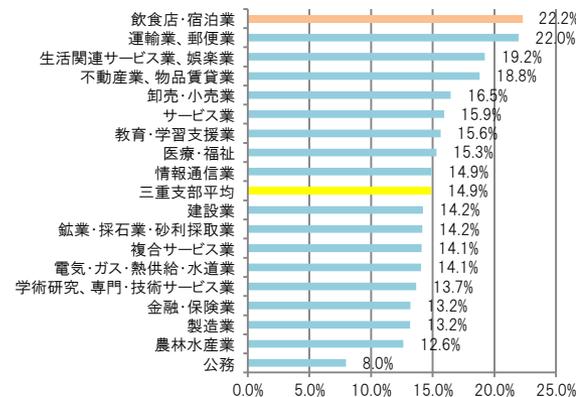
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

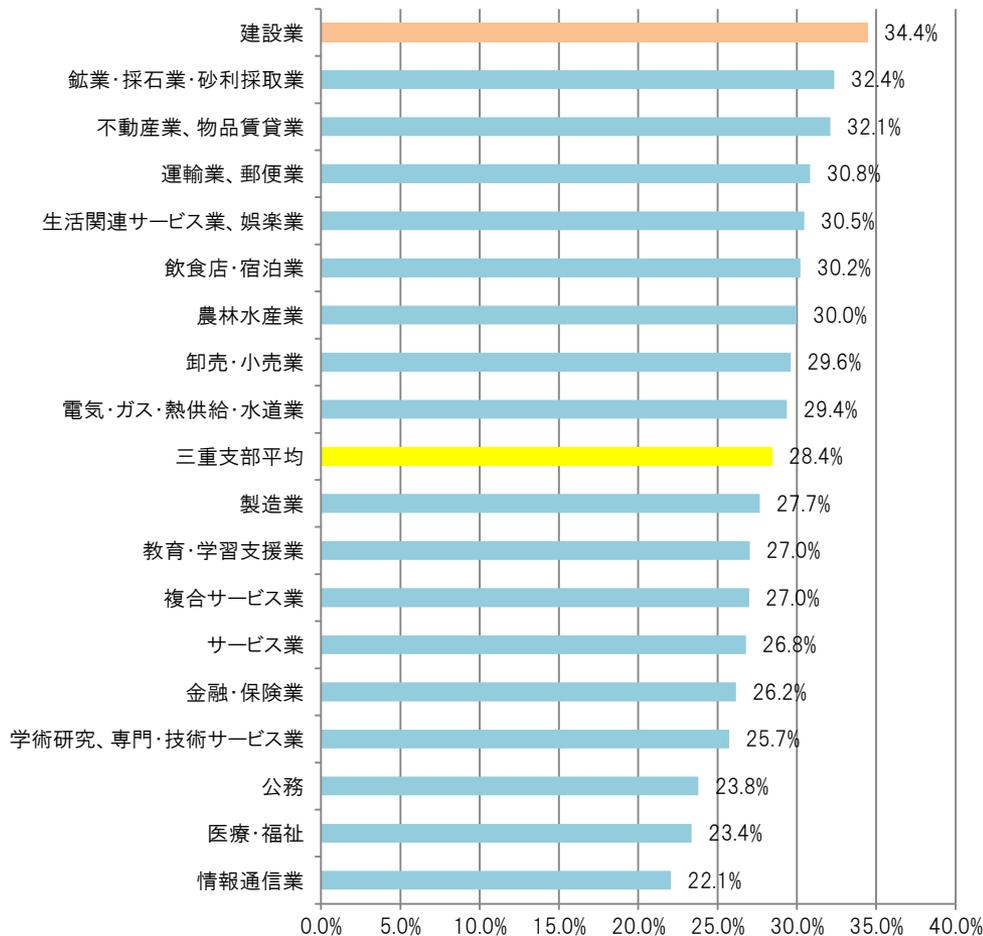


性別・年齢調整後の男女計割合で「飲食店・宿泊業」が33.8%と最も高く、次いで、「運輸業・郵便業」(29.2%)、「生活関連サービス業、娯楽業」(25.9%)の順に高い。最も低い業態は「公務」で10.6%であった。

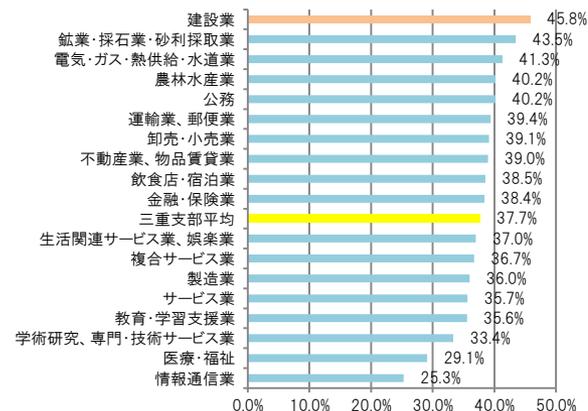
# 業態別 毎日飲酒する者の割合

【質問内容】 お酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を現在どのくらいの頻度で飲みますか  
※毎日飲む者の割合を計算

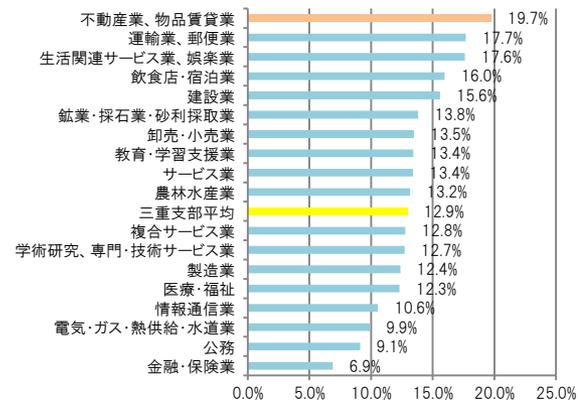
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

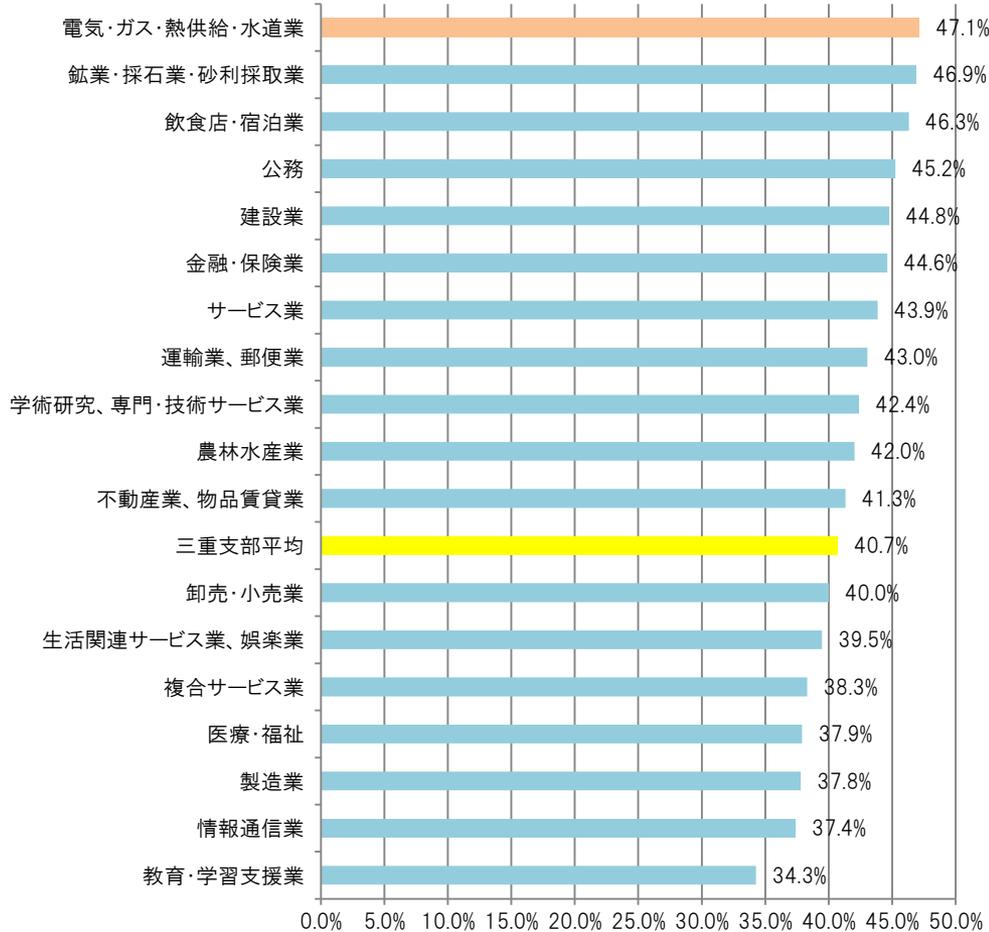


性別・年齢調整後の男女計割合で「建設業」が34.4%と最も高く、次いで、「鉱業・採石業・砂利採取業」(32.4%)、「不動産業、物品賃貸業」(32.1%)の順に高い。最も低い業態は「公務」で22.1%であった。

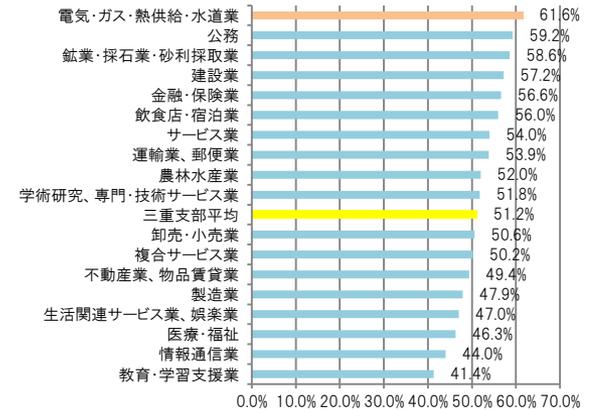
# 業態別 1合以上飲む者の割合

【質問内容】 飲酒日の1日当たりの飲酒量はどのくらいですか？  
※1合以上飲む者の割合を計算

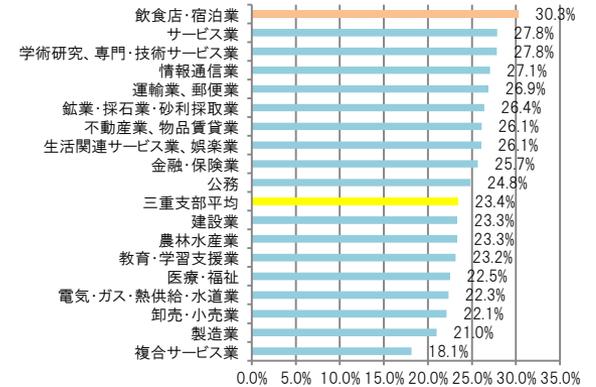
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

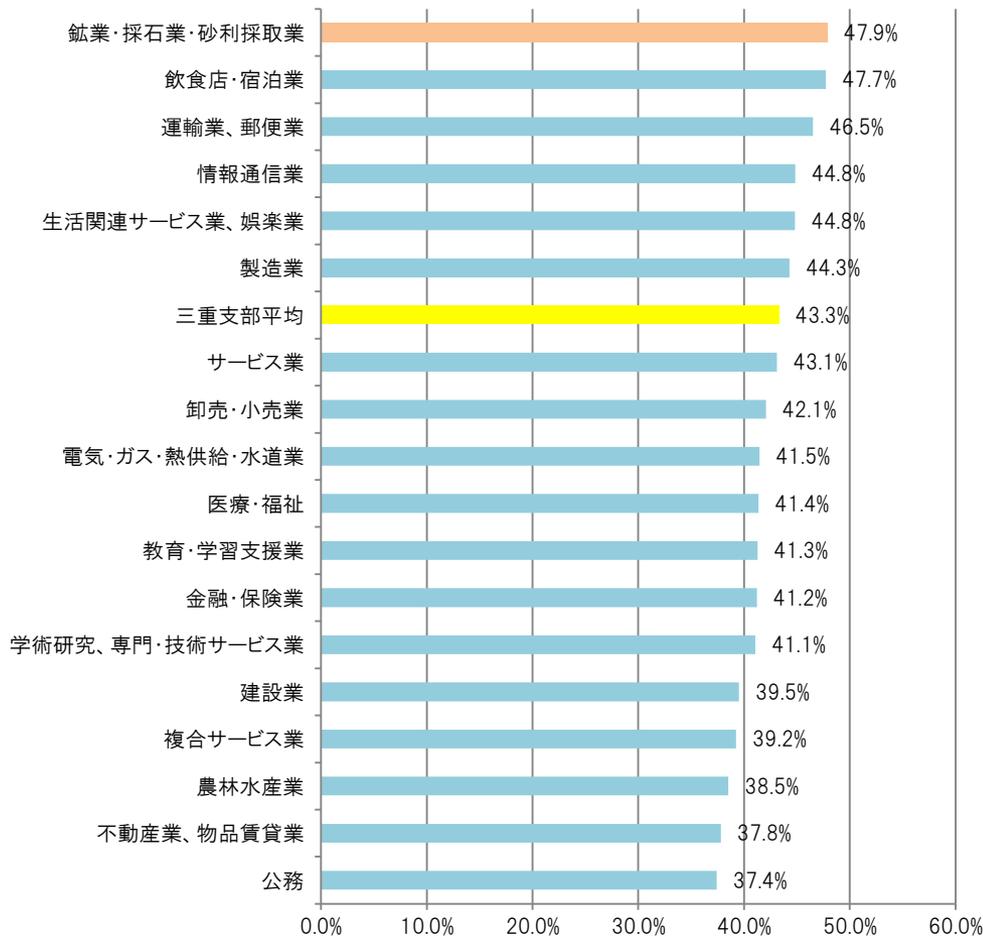


性別・年齢調整後の男女計割合で「電気・ガス・熱供給・水道業」が47.1%と最も高く、次いで、「鉱業・採石業・砂利採取業」(46.9%)、「飲食店・宿泊業」(46.3%)の順に高い。最も低い業態は「教育・学習支援業」で34.3%であった。

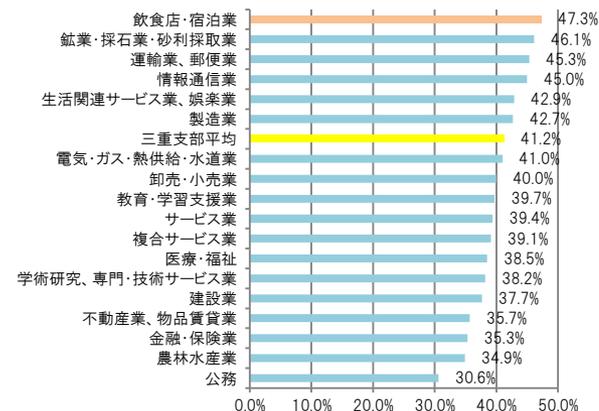
# 業態別 睡眠で休養を得られていない者の割合

【質問内容】睡眠で休養が得られている  
 ※睡眠で休養が得られていない者がリスクありと捉え、その割合を計算

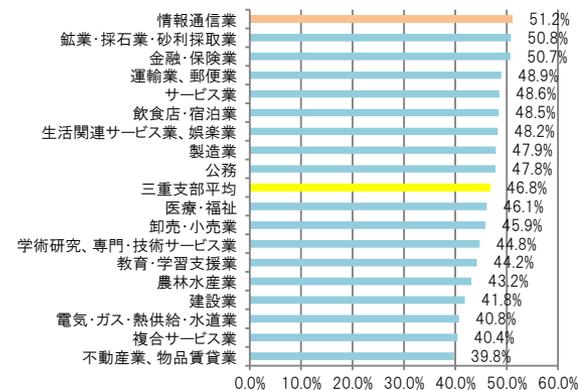
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

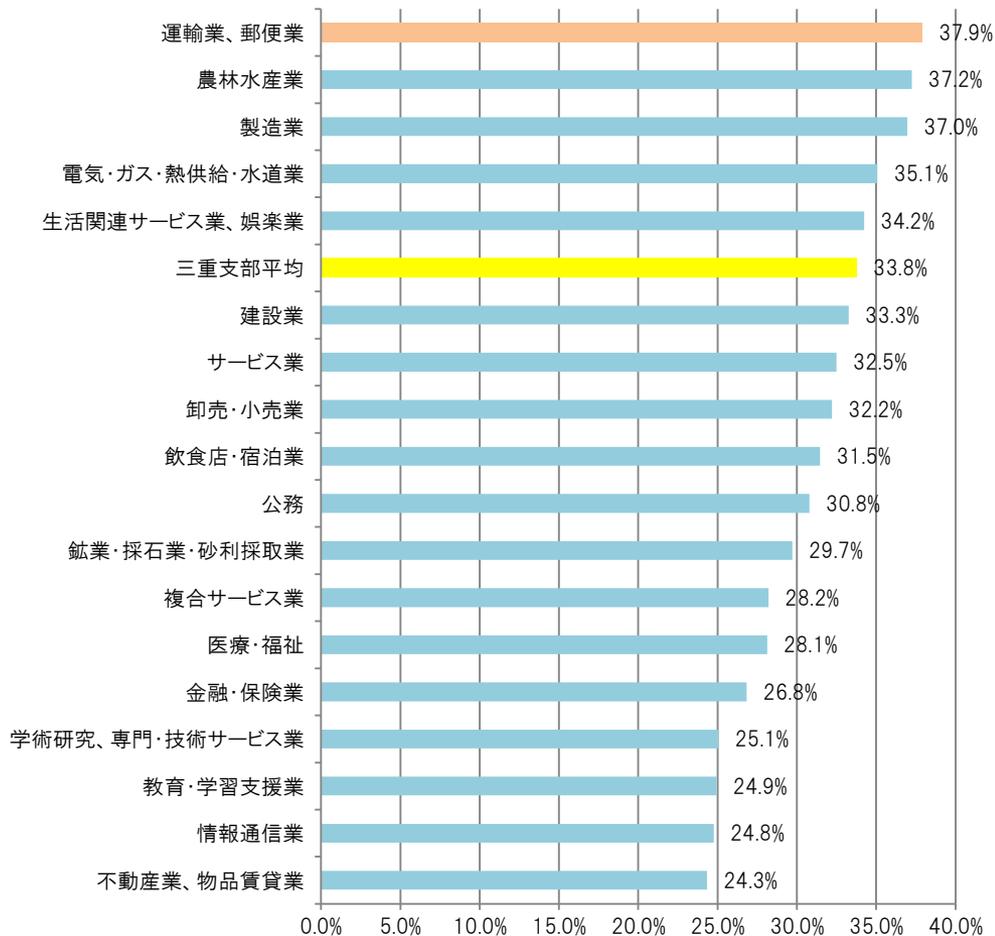


性別・年齢調整後の男女計割合で「鉱業・採石業・砂利採取業」が47.9%と最も高く、次いで、「飲食店・宿泊業」(47.7%)、「運輸業、郵便業」(46.5%)の順に高い。最も低い業態は「公務」で37.4%であった。

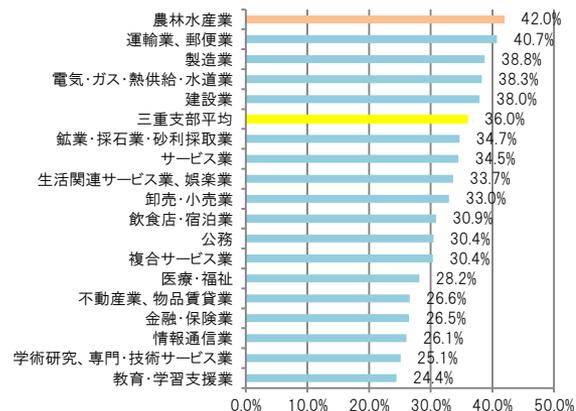
# 業態別 生活習慣改善の意思がない者の割合

【質問内容】運動や食生活等も生活習慣を改善してみようと思いませんか  
※改善意思がない者をリスクありと捉え、その割合を計算

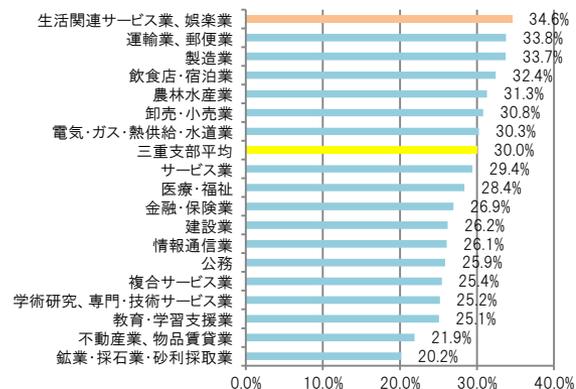
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)

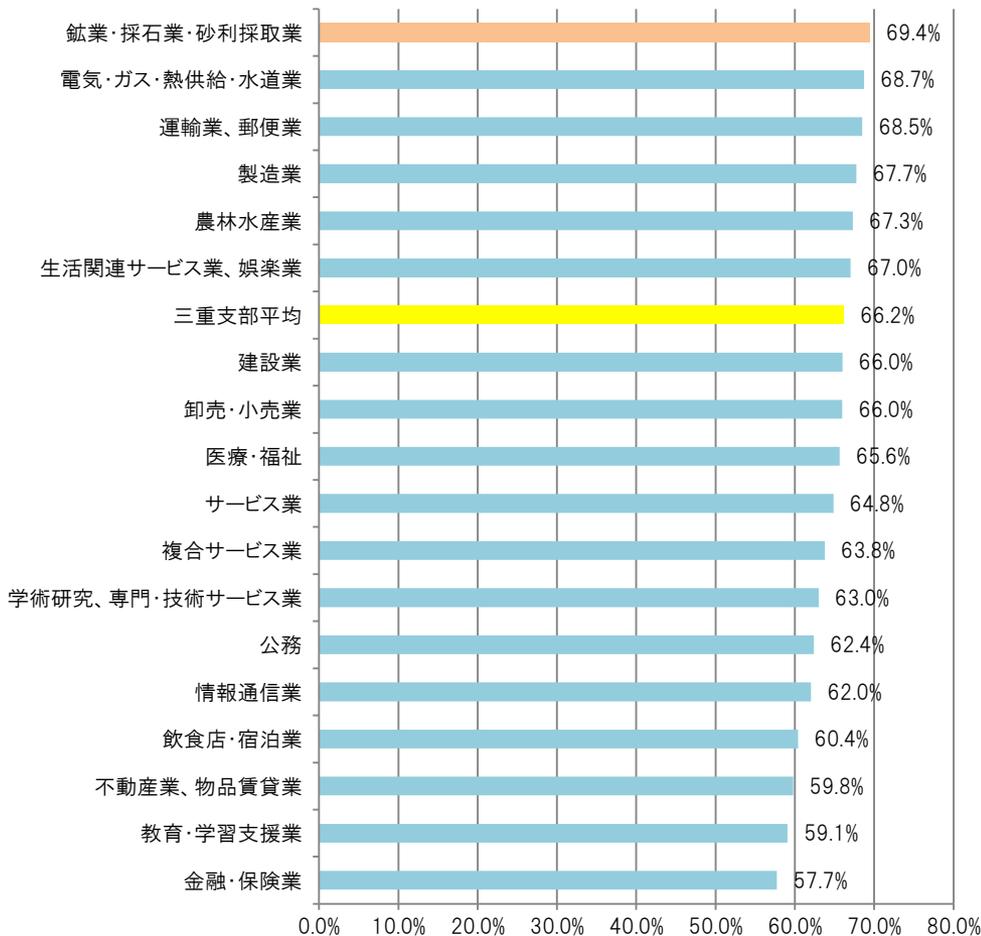


性別・年齢調整後の男女計割合で「運輸業、郵便業」が37.9%と最も高く、次いで、「農林水産業」(37.2%)、「製造業」(37.0%)の順に高い。最も低い業態は「不動産業、物品賃貸業」で24.3%であった。

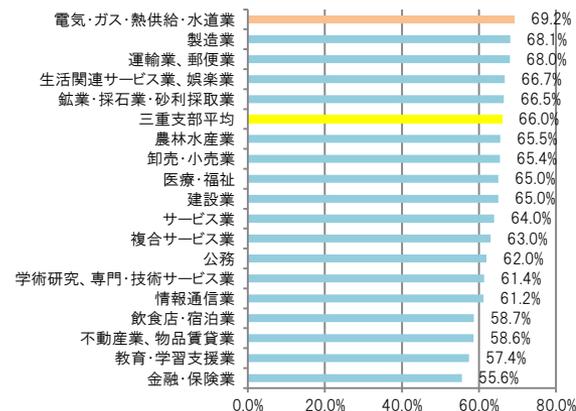
# 業態別 保健指導を希望しない者の割合

【質問内容】生活習慣の改善について保健指導を受ける機会があれば、利用を希望しますか  
 ※保健指導を希望しない者をリスクありと捉え、その割合を計算

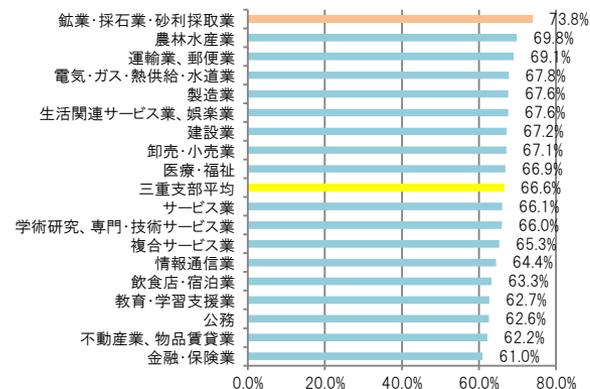
性別・年齢構成比を調整後



男性 (参考)



女性 (参考)



性別・年齢調整後の男女計割合で「鉱業・採石業・砂利採取業」が69.4%と最も高く、次いで、「電気・ガス・熱供給・水道業」(68.7%)、「運輸業、郵便業」(68.5%)の順に高い。最も低い業態は「金融・保険業」で57.7%であり、全業態で半数以上の者が保健指導を希望しないという結果であった。